

第42回秋田県優良工事表彰 第7回秋田県優良業務表彰



令和3年8月
秋 田 県



©2015秋田県んだッチ



第4 2回秋田県優良工事表彰から

- 表紙：能代地区専門系統合校 教室・特別・管理棟建築工事
 左上：浅舞北部地区 農地集積加速化基盤整備工事 09602-K06
 右上：後野地区 緊急総合治山工事 RD1107A114
 左下：地方道路改築補助工事 01-HF27-K3
 右下：県単砂防工事（緊急自然災害防止債・急傾斜） 02-L101-10

目次

・お祝いの言葉	2
・第4 2回秋田県優良工事表彰及び 第7回秋田県優良業務表彰について	3
・第4 2回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・表彰工事の概要	6
・秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	43
・秋田県優良工事表彰要綱	44
・第7回秋田県優良業務表彰業務一覧表	45
・表彰業務の概要	46
・秋田県優良業務表彰選考委員会及び幹事会名簿	57
・秋田県優良業務表彰要綱	58



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

秋田県優良工事表彰及び秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で42回目を迎えました。今回受賞された37件は、対象となる1,713件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成した工事であります。

また、優良業務表彰制度は、測量や調査・設計に携わる県内企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に平成27年度に創設され、今年度で7回目を迎えました。今回受賞された11件は、810件の業務から選定されたもので、いずれも豊富な知識と優れた技術により完了した業務であります。

建設産業は、地域の生活や産業活動を支える社会資本整備の担い手としてだけでなく、県民の安全・安心な暮らしを守る地域防災の担い手として、また、地域の経済と雇用を支える基幹産業として、大変重要な役割を果たしております。

県では、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保や、建設ICT・IoTをはじめとした新技術・新工法導入等による活動領域の拡大を支援するとともに、技術・技能の継承や安定的な事業運営が図られるよう、若者や女性などの建設人材の確保・育成や、建設現場における生産性向上に向けた取組を推進してまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる皆様におかれましては、今後とも「ふるさと秋田」の更なる発展のため、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

第4 2回秋田県優良工事表彰及び第7回秋田県優良業務表彰について



秋田県優良工事・秋田県優良業務表彰幹事長
秋田県 建設部 建設産業振興統括監
浅井 学

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目の受賞者に与えられる「特別表彰」があります。

今回は、令和2年度に完成した工事の中から、37件を優良工事として表彰し、その内訳は、単独企業受賞が31件、共同企業体受賞が6件となっているほか、特別表彰として、受賞企業全33社のうち、10回目の受賞として1社を、5回目の受賞として2社を表彰するものです。

これらの工事は、自然条件や施工上の制約が厳しい中、優れた技術力と創意工夫により工事を完成させているほか、品質確保や、安全対策においても高く評価されたものであり、そのご努力に対し敬意を表するものであります。

また、業務については、平成27年度に、測量や調査・設計に携わる企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に、秋田県優良業務表彰を創設しております。

今回は、令和2年度に完了した業務の中から、11件を優良業務として表彰するものであり、これらの業務は、専門技術力や品質管理能力が特に優れているなど、他の模範となるものであります。

受賞された皆様には、今回の表彰を機に、建設ICT・IoT技術の推進に向けた積極的な取組や、維持管理時代に即応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められ、地域社会に貢献されますことを期待申し上げます。

第42回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	受注者名	代表者名	発注公所
1		花輪大堰地区 ため池等整備(用排水)工事 01104-K01	鹿角市 花輪	株式会社村木組	村木 通良	鹿角地域振興局
2		県単砂防工事 (緊急自然災害防止債・急傾斜) 02-L101-10	鹿角市 花輪	有限会社黒沢建設	黒沢 俊治	鹿角地域振興局
3		公共堰堤改良工事 02-NG22-10	鹿角郡 小坂町小坂	小坂建設株式会社	工藤 繁夫	鹿角地域振興局
4		中池地区 ため池等整備(ため池)工事 03102-K11	大館市 芦田子	株式会社大森土木	大森 弘人	北秋田地域振興局
5		地方道路改築補助工事 01-HF27-80	北秋田市 坊沢	佐藤庫・ほくよう特定建設 工事共同企業体	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
6		地方道路改築補助工事 01-HF27-K3	北秋田市 坊沢	秋田土建・佐藤吉特定建 設工事共同企業体	北林 一成	北秋田地域振興局
7		地方道路改築補助工事 01-HF27-K4	北秋田市 坊沢	佐藤庫・伊藤羽州特定建 設工事共同企業体	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
8		県単河川改良工事(緊急自債) 02-K162-10	北秋田市 阿仁小淵	秋田土建株式会社	北林 一成	北秋田地域振興局
9		上西山地区 防災林造成工事 RC1103A711	能代市 浅内	斎藤建設株式会社	斎藤 宗一郎	山本地域振興局
10		八森漁港 水産物供給基盤整備工事 10231-K02	山本郡 八峰町八森	伊藤栄建設株式会社	伊藤 栄典	山本地域振興局
11		能代港第2灰捨護岸建設工事 01-Z102-30	能代市 河戸川	三熊興業株式会社	三熊 金五郎	能代港湾事務所
12		地方道路交付金工事(改築) 01-HF35-10	能代市 二ツ井町 荷上場	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
13		後野地区 緊急総合治山工事 RD1107A114	秋田市 雄和相川	伊藤工業株式会社	伊藤 満	秋田地域振興局
14		北浦漁港地区 水産物供給基盤機能保全工事 40502-K01	男鹿市 北浦	株式会社清水組	清水 隆成	秋田地域振興局
15		大規模特定河川工事 01-KG20-20	秋田市 檜山太田町	株式会社加藤建設	加藤 正己	秋田地域振興局
16		統合補助改修工事 02-PC12-10	船川港 本港地区	株式会社沢木組	沢木 則明	船川港湾事務所
17	特別表彰 (10回)	県単道路改築工事 01-I104-20	南秋田郡 井川町坂本	株式会社板橋組	板橋 広光	秋田地域振興局
18		道路災害関連工事 01-KD10-10	男鹿市 脇本	株式会社寒風	菅原 廣悦	秋田地域振興局
19		道路災害関連工事 01-KD10-20	男鹿市 脇本	三和興業株式会社	武田 昭彦	秋田地域振興局
20		地方道路交付金工事(災害防除) 01-FI64-10	男鹿市 脇本	千代田電気工業株式会 社	小野地 慎一	秋田地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まれない



第42回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	特別表彰	工事名 (路河川名)	工事箇所	受注者名	代表者名	発注公所
21		上台地区 予防治山工事 RE1113A131	由利本荘市 鳥海町上笹子	有限会社三浦土木	三浦 秀人	由利地域振興局
22		地方道路交付金工事(改築) 01-HF17-10	由利本荘市 上大野	村岡建設工業株式会社	村岡 兼幸	由利地域振興局
23		岩井沢地区 治山施設機能強化工事 RF1115A021	仙北市 田沢湖生保内	万六建設株式会社	田中 恒雄	仙北地域振興局
24		松葉地区 予防治山工事 RF1114A011	仙北市 西木町松木内	株式会社鈴建興業	鈴木 一義	仙北地域振興局
25		河川災害復旧助成工事 30-KJ11-30	大仙市 南外	村岡・山勇特定建設工事 共同企業体	村岡 兼幸	仙北地域振興局
26		河川災害復旧助成工事 30-KJ11-95	大仙市 南外	株式会社佐藤建設	佐藤 吉博	仙北地域振興局
27		河川災害復旧助成工事 30-KJ11-94	大仙市 南外	Takamitu株式会社	高橋 篤美	仙北地域振興局
28		河川災害復旧等関連緊急工事 01-KE11-90	大仙市 協和下淀川	秋田振興建設株式会社	小原 吾朗	仙北地域振興局
29		浅舞北部地区 農地集積加速化基盤整備工事 09602-K06	横手市 平鹿町浅舞	有限会社泉谷土木	泉谷 悟	平鹿地域振興局
30		道路メンテナンス工事(橋梁補修) 02-F157-10	横手市 増田町増田	株式会社大和組	大和 康範	平鹿地域振興局
31		地方道路交付金工事(橋梁補修) 01-F157-40	横手市 大森町	株式会社山田塗料店	山田 進	平鹿地域振興局
32	特別表彰 (5回)	深堀地区 基幹水利施設ストックマネジメント工事 04602-K02	湯沢市深堀・ 羽後町赤袴	株式会社佐藤建設	佐藤 清次	雄勝地域振興局
33	特別表彰 (5回)	地方道路交付金工事(橋梁補修) 01-F158-10	湯沢市 秋ノ宮	株式会社柴田組	柴田 晋	雄勝地域振興局
34		地方道路交付金工事(橋梁補修) 02-F158-30	湯沢市 秋ノ宮	日本機械工業株式会社	伊藤 俊永	雄勝地域振興局
35		県立スケート場 ホッケーリンク改修工事 2-SPO1-1	秋田市 新屋町	山二施設・羽後設備特定 建設工事共同企業体	阿部 公雄	スポーツ振興課
36		鎧畑発電所 3号機発電所建設工事 02-DK-44	仙北市 田沢湖田沢	佐藤建設株式会社	田村 保	公営企業課 発電所建設室
37		能代地区専門系統合校 教室・特別・管理棟建築工事	能代市 盤若町	大森・沢木・大高・佐藤庫 特定建設工事共同企業 体	大森 三四郎	教育庁総務課 施設整備室

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まれない

1 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	花輪大堰地区 ため池等整備(用排水)工事 01104-K01		
路河川名/地区名	花輪大堰地区	施工地名	鹿角市花輪
商号又は名称	株式会社村木組	許可番号	05-014040
請負額	47,957,800円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 村木 通良		
監理技術者等	現場代理人 中村 勝利		
監督実施公所	鹿角地域振興局(農林部)		
主任監督員	齊藤 秀悦	監督員	北野 陸
工期	令和2年7月16日～ 令和2年12月23日	完成年月日	令和2年12月23日
概要	1)水路工 L=110.6m 2)安全施設工 L=252.2m		
特徴	1)消流雪水利権による工事期間の制限 2)住宅街における騒音対策		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、農業用水及び消流雪(鹿角市、JR東日本)の利水期間を避けた、9月から11月末までに完成が求められる工事であるが、関係機関との調整に努め工期内に完成させた。
- ・住宅地内での施工となるため、超低騒音建設機械の使用や常時排水で使用する発電機を防音シートで囲い、騒音抑制を行ったことは評価できる。
- ・鹿角市街地の中心部を走る幹線水路であり、工事施工区域以外での防火用水用プールの設置や隣接する市道の交通確保を行い、住民の利便性に配慮し安全対策に努めた。

◆受注者からのPR

- ・農業・消流雪水利権により、施工期間の制約があったが、施工範囲・資機材の搬入経路・大型フリームの製造と現場工程のフォローアップを行い、円滑な工事進捗を図った。
- ・地域住民への配慮として、超低騒音型重機・機械の選定や、常時排水で使用する発電機を防音シートで騒音対策を行い、苦情や住民とのトラブルもなく完成できた。
- ・ワンマン測量機器や電子黒板の活用により、大型フリーム設置の精度向上や施工管理の省力化に努めた。

2 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	県単砂防工事（緊急自然災害防止債・急傾斜） 02-L101-10		
路河川名/地区名	上花輪2号地区	施工地名	鹿角市花輪
商号又は名称	有限会社黒沢建設	許可番号	05-009062
請負額	12,229,800円	工種・格付	法面 A級
代表者	代表取締役 黒沢 俊治		
監理技術者等	現場代理人 田中 富雄		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	北林 了以	監督員	木村 友佳
工期	令和2年11月13日～ 令和3年3月29日	完成年月日	令和3年3月15日
概要	1) 施工延長 L=20m 2) 法枠工 A=132m ² 3) 水路工 L=12m		
特徴	1) 民家に隣接する急傾斜地対策工事		
写 真			
			
着工前		完成	



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、がけ崩れ災害を防ぐため、斜面に吹付法枠工を設置した工事である。
- ・冬期施工の中、品質や安全管理について工夫がなされていた。
- ・施工範囲上部には住宅があり、住民への影響が大きい工区であった。
- ・近接する道路が通学路となっており、学生等歩行者の通行について配慮されていた。
- ・既設の構造物が支障となり、法枠工の割付を計画する上で影響したが、支障物を加味しながらの割付により、全体の美観が良く出来ている。
- ・法枠工施工前の法面清掃に努め、品質の確保、出来ばえの向上に大きく寄与している。

◆受注者からのPR

- ・民家が近接しているため、モルタル飛散防止養生や低騒音タイプの発電機を使用した。
- ・冬期施工のため、モルタル吹付時の温度管理(外気温・養生温度・打設温度)を入念に行った。
- ・植生工は完成までの間に発芽が見込めなかったため、様々な条件からの配合作成、雪解け時に目視で観察し発芽を確認した。
- ・積雪や天候の影響で工程がかなり左右されるため、工程を常にチェックし、資機材の搬入計画や段階確認、各工程の始まりやタイミングを天気予報とともに考えた。

3 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	公共堰堤改良工事 02-NG22-10		
路河川名/地区名	砂子沢川	施工地名	鹿角郡小坂町小坂
商号又は名称	小坂建設株式会社	許可番号	05-000105
請負額	116,983,900円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 工藤 繁夫		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 俊		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	北林 了以	監督員	庄司 勝政
工期	令和2年6月5日～ 令和2年12月28日	完成年月日	令和2年12月18日
概要	1) 施工延長(地すべり排土)L=136.2m, 掘削工V=18,080m ³ , 排水工等1式 2) 施工延長(残土処理地)L=80.0m, 盛土工V=18,170m ³ , 排水工等1式		
特徴	1) 掘削及び盛土工が主要工種であり冬期施工は困難 2) 片押し施工となる現場(出入口複数確保不可・通り抜け不可) 3) 重金属を含む地層があり掘削及び運搬時に分別が必要		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、斜面地すべりの恒久対策として排土工を実施し、排土により発生する残土は5km程離れた受入地に搬出する工事である。
- ・片押し施工となる現場条件、地すべり計器等支障物の撤去及び移設調整、重金属を含む岩石の分別など、工程の支障となる案件が多々ある。主要工種が土工であり、また豪雪地帯であることから、冬期施工が困難な地域でもある。
- ・現場の施工条件に対し、ICT技術の活用、サイクルタイム計測により車両の滞留が発生しない運搬計画、小段及び縦排水の張コンクリート部のプレキャスト化、電子小黒板の活用など、施工管理上で効率化を図り、本格的な降雪を前に現場を完成させた。

◆受注者からのPR

- ・複雑な設計図面であることから、施工管理全般が煩雑になる懸念があったため、ICT活用施工(土工)により実施した。
- ・工事現場は山間部であり電波状態が微弱な範囲があることから、ICT建機の精度を補完するために固定局(簡易基地局)を設置し、日々の施工誤差を極力少なくするようにした。
- ・クラウドサービスを利用する事により工程管理の面で掘削日進量が把握できることから、土砂等運搬の計画に効果を発揮した。

4 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	中池地区 ため池等整備（ため池）工事 03102-K11		
路河川名/地区名	中池地区	施工地名	大館市芦田子
商号又は名称	株式会社大森土木	許可番号	05-006532
請負額	90,325,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 大森 弘人		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 和人		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	鈴木 努	監督員	藤田 祐貴、木村 朱里
工期	令和2年3月31日～ 令和2年11月30日	完成年月日	令和2年11月30日
概要	1)洪水吐工 L=77m		
特徴	1)土質変更等に迅速に対応した洪水吐の改修 2)地下水に配慮した仮設計画		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事では、巨石や湧水の出現に迅速に対応したほか、ため池下流にある集落の生活用水（井戸利用）に配慮し、十分な濁水対策を行ったことなどが評価できる。 ・工事に関する工夫のほか、チラシによる工事の周知などにより工事が円滑に実施され、降雪前に工事を完成させた。 ・工事説明会の実施や工事状況チラシの配布を通じて地域住民と良好な関係を築き、現場で発生した雑木は、マキやシイタケの原木として再利用が可能となり、処理費用削減や有効利用が図られた。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・洪水吐掘削部は、巨石や湧水の出現により法面の崩落が懸念されたため、地権者と交渉し掘削法勾配を1:0.5から1:0.8にすることにより、作業員の安全を確保し工事をスムーズに進めることができた。 ・下流集落の生活用水は井戸利用がほとんどであり、沈砂池2箇所を設置するなど濁水防止対策を万全に行ったことで、井戸水への影響を抑えることができた。 ・工事を進める中で、現場条件が変化し対応に苦慮する場面もあったが、関係者と情報を共有しその都度、代替案を検討、実行した結果、工期内に竣工させることができた。

5 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路改築補助工事 01-HF27-80		
路河川名/地区名	大館能代空港西線	施工地名	北秋田市坊沢
商号又は名称	佐藤庫・ほくよう特定建設工事共同企業体		
請負額	247,605,600円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	株式会社佐藤庫組 代表取締役 佐藤 昌郁		
許可番号	05-006597	監理技術者等	監理技術者 岩淵 安寿子
(構成員)	ほくよう建設株式会社 代表取締役 齋藤 貴志雄		
(許可番号)	05-000344	(監理技術者等)	主任技術者 平川 守
監督実施公所	北秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	佐藤 大	監督員	出雲 智也
工期	令和元年9月13日～ 令和2年5月15日	完成年月日	令和2年5月15日
概要	1) 施工延長 L=430.3m 2) 掘削工 V=26,100m ³ 3) 路床盛土 V=2,000m ³ 4) 基層工(本線) A=1,790m ²		
特徴	1) 総土工量V=30,000m ³ に及ぶ土工工事 2) 工事の進捗に合わせた一般交通の切替えが発生する工事		
写 真			
着工前		完成	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は自動車専用道路のインターチェンジを築造する土工主体の工事である。施工にあたり受注者希望型ICT施工とし、30,000m³に及ぶ土工の省力化、作業効率の向上を図ることにより次工事着工へ影響することなく工事を完成させた。
- ・受注会社内の女性職員による現場パトロールを定期的実施し、現場環境の向上が図られている。
- ・上層路盤施工時、細骨材にリサイクル材の溶融スラグ入り骨材を活用することにより循環型社会への貢献と締固め度98.5%以上と高い品質を得る事ができた。

◆受注者からのPR

- ・供用中の県道脇での作業の為、工事車両と一般車両の事故防止を図るよう交通誘導員の配置、安全施設の設置、作業中である事が確実に視認できるよう看板の設置及び誘導員を多く配置し事故防止に努めた。
- ・作業効率の向上及び省力化を図るためICT技術の活用のほか、出来形測量を行う際に電子野帳を使用した。
- ・データ管理、品質管理についてはアスファルト舗設の際、タイヤローラに取り付けた路面温度センサーからのデータを運転席で随時確認し、適切な表面温度で舗装面の仕上げを行うなど出来形、品質の向上に取り組んだ。

6 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	地方道路改築補助工事 01-HF27-K3		
路河川名/地区名	大館能代空港西線	施工地名	北秋田市坊沢
商号又は名称	秋田土建・佐藤吉特定建設工事共同企業体		
請負額	237,584,600円	工種・格付	舗装 A級
代表者	秋田土建株式会社 代表取締役 北林 一成		
許可番号	05-081727	監理技術者等	監理技術者 小林 勇輝
(構成員)	佐藤吉株式会社 代表取締役 佐藤 吉保		
(許可番号)	05-001178	(監理技術者等)	主任技術者 山下 純一
監督実施公所	北秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	佐藤 大	監督員	中田 雄大
工期	令和2年5月29日～ 令和2年11月30日	完成年月日	令和2年11月30日
概要	1) 施工延長 L=840.0m 2) 上層路盤工 A=6,984m ² 3) アスファルト舗装工 A=20,507m ² 4) 防護柵工 N=1式		
特徴	1) 日本海沿岸東北自動車道となる区間(インターチェンジ周辺)の上層路盤、アスファルト舗装及び防護柵の施工 2) 同時期に施工中の隣接工事との綿密な工程調整を要する施工区間		
写 真			
着工前		完成	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、高規格道路の上層路盤、アスファルト舗装及び防護柵の施工が主な工事である。
- ・現道交通を供用しながらの工事であったが、一般車両に対する安全対策を十分に行い、無事故で工事を完成させた。
- ・同時期に施工中の隣接工事との調整を行い、遅延なく完成させた。
- ・ICT技術を活用し、作業効率の向上や施工期間の短縮を図った。
- ・人力作業を減らし機械施工をするなど、作業の効率化に取り組み、週休二日勤務を達成した。

◆受注者からのPR

- ・積極的に情報化施工を行い、上層路盤においてICT舗装機械(グレーダー)を使用し、非常に高い精度で施工を行った。
- ・写真管理において、デジタル小黒板を使用する事により、写真管理の軽減化を図り、施工管理にかかる時間を大幅に減少させた。
- ・本工事のメインでもある排水性舗装は、連続作業が原則で機械を停止出来ないため、人員の増員及び連続した舗設作業計画を行い、出来形・品質の向上を図った。施工ジョイントの削減及び、連続作業による舗設が出来たため、平坦性の向上にもつながり、平坦性においては規格値2.4mm以下に対し平均1.0mmの結果を得た。

7 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路改築補助工事 01-HF27-K4		
路河川名/地区名	大館能代空港西線	施工地名	北秋田市坊沢
商号又は名称	佐藤庫・伊藤羽州特定建設工事共同企業体		
請負額	191,746,500円	工種・格付	舗装 A級
代表者	株式会社佐藤庫組 代表取締役 佐藤 昌郁		
許可番号	05-006597	監理技術者等	監理技術者 藤田 真由美
(構成員)	株式会社伊藤羽州建設 代表取締役 石山 清武		
(許可番号)	05-020143	(監理技術者等)	主任技術者 菊池 学
監督実施公所	北秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	佐藤 大	監督員	中田 雄大
工期	令和2年5月29日～ 令和2年11月30日	完成年月日	令和2年11月30日
概要	1) 施工延長 L=820.0m 2) アスファルト舗装工 A=21,830m ² 3) 防護柵工 N=1式		
特徴	1) 日本海沿岸東北自動車道となる区間(現道拡幅)の表層及び防護柵の施工 2) 同時期に施工中の隣接工事との綿密な工程調整を要する施工区間		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>完成</p>  </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、高規格道路のアスファルト舗装(排水性舗装)及び防護柵工が主な工事である。
- ・現道交通を供用しながらの工事であったが、一般車両に対する安全対策を十分に行い、無事故で工事を完成させた。
- ・同時期に施工中の隣接工事との調整を行い、遅延なく完成させた。
- ・人員配置を見直して、日当たり施工量を高めることにより、週休二日勤務を達成することができた。
- ・女性技術者を登用し、建設業で活躍している女性がいることを周知できた。

◆受注者からのPR

- ・排水性舗装転圧時の温度管理について、初期転圧・二次転圧時の温度測定を従来はデジタル温度計を使用していたが、当工事ではタイヤローラーの車体後方に温度センサーを取り付け、運転席に管理モニターを設置する事で適切な表面状態で仕上げ転圧を実施する事ができた。
- ・施工前の基本測量及び出来形測量時には、全て電子野帳を使用し、データ管理を行った。
- ・基準点測量を行う際にGNSS(人工衛星を使用した測量)を活用し、新点等の設置を行った。
- ・本社女性職員による女性パトロールを月1回実施し、現場環境の向上を図った。

8 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	県単河川改良工事（緊急債）02-K162-10		
路河川名/地区名	阿仁川	施工地名	北秋田市阿仁小淵
商号又は名称	秋田土建株式会社	許可番号	05-081727
請負額	93,729,900円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 北林 一成		
監理技術者等	現場代理人 津谷 和隆		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	金澤 和春	監督員	小笠原 哲士
工期	令和2年10月2日～ 令和3年3月29日	完成年月日	令和3年3月26日
概要	1) 施工延長 L=96.4m 2) 河川土工 N=1式 3) 護岸工 A=1,576m ²		
特徴	1) ICTを活用した掘削及び法面整形の施工 2) 同時期施工となる隣接工区との調整を要する施工区間 3) 厳しい気象条件の中での作業		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完成</p>		 <p style="text-align: center;">レーザースキャナーによる出来形測量</p>	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該工事における河川土工はICT技術を活用しているが、品質を確保するのが困難となる冬時期の施工において高い精度で出来形や品質を確保する施工管理を行った。
- ・施工機械の使用装置やコンクリート二次製品の使用、盛土の管理方法など施工における様々な工夫を行い、効率化や品質の向上を図っている。
- ・隣接する工区との同時期施工に対し綿密な作業工程調整を行うことでトラブル無く進めたほか完全週休二日を達成し、工事を完了した。
- ・安全衛生に対する取り組みが作業環境に沿っているなど評価できるものであった。

◆受注者からのPR

- ・ICT技術の活用として、河川土工を3次元マシンコントロールバックホウを活用し、起工測量は無人航空機（ドローン）を使用した他、出来形測量は測定時期（3月）の天候を考慮し、多少風が強くても測定できるレーザースキャナーを使用した。
- ・品質管理の工夫として、冬期間での盛土施工で降雪による盛土材の品質低下が懸念されたが、盛土表面をシート等で養生を行った他、ローラーの最適転圧回数の明示と回数計を使用して過大過小転圧による品質低下防止に努めた。
- ・地域への貢献として、月1回秋田内陸縦貫鉄道小淵駅の清掃活動と、大雪時の小淵部落集会所や高齢者宅で除雪ボランティア活動を実施し、地元住民から感謝の言葉を多数頂いた。

9 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	上西山地区 防災林造成工事 RC1103A711		
路河川名/地区名	上西山地区	施工地名	能代市浅内
商号又は名称	斎藤建設株式会社	許可番号	05-000827
請負額	88,247,500円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 斎藤 宗一郎		
監理技術者等	現場代理人 武田 多慶志		
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	今川 順	監督員	富樫 満
工期	令和2年3月27日～ 令和2年11月13日	完成年月日	令和2年11月6日
概要	1) 防潮護岸工（嵩上げ） L=120m 2) 消波根固工（嵩上げ） L=148m		
特徴	1) 既設防潮護岸を取壊しコンクリートブロックを据付嵩上げを行う 2) 製作した消波ブロックを大型クレーンにより据付嵩上げを行う		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事は、強風、波浪による海岸の浸食や飛砂を防止するため設置されている防潮護岸工・消波根固工の嵩上げを実施した工事である。
- ・社内独自の検査項目を策定し、防潮護岸工嵩上げに使用する二次製品の工場検査を行うなど、品質管理の取り組みが優秀であった。
- ・消波ブロック制作や施工の工程において、創意工夫により作業効率向上の対策を考え、他工事の模範となるものであった。
- ・安全管理においても高所運転席仕様のクレーンや同時通話無線の活用、平均台を利用した体調管理など独自の取り組みを行い、作業員の意識向上や地域への啓発に努めている。

◆受注者からのPR

- ・施工面では、作業効率を考慮しワイヤーロープ絡まり防止器具・削孔定規・消波ブロック出来形計測定規・消波ブロック数量確認マーカー等を製作し作業を進めた。
- ・安全面では、作業員の安全意識を向上させるため、平均台での体調確認・女性による安全衛生パトロールの実施・同時通話無線の活用・クレーン選定（運転席上昇で視認性が良好）・自社キャラクター「サイクン」を使用した安全への取組みを行った。
- ・地域社会に貢献するため、継続的な改善を図りながら品質・出来形・出来栄等の優れた製品を提供できるよう日々努力したい。

10 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	八森漁港 水産物供給基盤整備工事 10231-K02		
路河川名/地区名	八森漁港	施工地名	山本郡八峰町八森
商号又は名称	伊藤栄建設株式会社	許可番号	05-000807
請負額	48,711,300円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 伊藤 栄典		
監理技術者等	現場代理人 工藤 大輔		
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	小林 真澄	監督員	佐藤 伸哉
工期	令和2年3月27日～ 令和2年9月30日	完成年月日	令和2年9月25日
概要	1)-4.0m岸壁（改良）L=50.3m 2)上部工取壊し V=103m ³ 3)アンカー取付工 N=1式 4)上部コンクリート V=121m ³		
特徴	1)-4.0m岸壁改良（陸揚岸壁の耐震・耐津波化対策）を目的とした工事		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事は、漁協前の限られたスペースで、且つ陸揚げ等の漁業活動に支障とならないよう作業を進めることが重要であったため、漁業協同組合との密な打合せと漁業関係者への工事前の丁寧な現場説明や調整、チラシの配布等により良好な工事進捗に努めた。
- ・コンクリートの表面養生材の施工や、鉄筋の防錆材の塗布、既設コンクリート取壊しについては、漁協前及び荷捌き所前での作業であり振動を抑える必要があるため、人力及び小型破碎機による慎重な作業や作業前後の確認を行うなど品質確保の面からも努力が伺える。
- ・施工管理の効率化のためのソフト導入や工事写真撮影時の創意工夫など評価できた。

◆受注者からのPR

- ・工事着手前に漁業協同組合と連携して現場説明を行ったことにより、地元漁業者の理解を得て工事を進めることができた。
- ・既設上部工の取壊しにあたって、小型機械及び人力による作業を選択したことにより、隣接する漁協建物にひび割れ等の影響なく施工することができた。
- ・暑中コンクリート対策として、コンクリートの運搬時間をできるだけ短くし、また早朝の気温が低い時間に打設を行い、コンクリート温度の上昇を抑えた。
- ・地元八峰町の基幹産業である漁業をはじめ、今後も地域社会に貢献できるよう努める。

1 1 第 4 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	能代港第2灰捨護岸建設工事 01-Z102-30		
路河川名/地区名	能代港 外港地区	施工地名	能代市河戸川
商号又は名称	三熊興業株式会社	許可番号	05-004516
請 負 額	86,075,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 三熊 金五郎		
監理技術者等	現場代理人 櫻田 専悦		
監督実施公所	能代港湾事務所		
主任監督員	加藤 広一	監 督 員	工藤 陽花
工 期	令和2年3月19日～ 令和3年3月22日	完成年月日	令和3年3月22日
概 要	1) 基礎捨石工V=82m ³ 2) 上部擁壁工V=17m ³ 3) 裏込工A=60m ² 4) 放流管工L=129m 5) フィルター材V=1597m ³ 6) 接続柵工N=1式 7) 丸太防風柵L=144.7m 8) 原水ピット工N=1式		
特 徴	1) 第2灰捨場南側の放流管設置工事 2) 波浪による影響を強く受ける 3) 別件工事受注者との工程調整及び場内の安全確保		
写 真			
			
完成(放流管工)		完成(丸太防風柵)	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当施工箇所周辺は、最大9社が入り出る現場であったことから工程管理や安全管理が重要となったが、他工区との調整を行うために安全連絡協議会で事務局を担当するなど当工事のみならず、周辺工事を含めた全体の安全管理に積極的に関与し、無事故で工事を完成させた。
- ・他工区との調整により施工順序の変更が生じたが、随時工程のフォローアップを行い、作業効率を考慮し施工したことにより、遅れを生じさせることなく工期内に工事を完成させた。
- ・冬期間の季節風による波の影響を考慮し、水衝部の捨石の規格変更を提案する等、施工に関する積極的な姿勢が伺えた。実際にその提案を採用したことにより、捨石施工完成後に発生した令和3年2月暴風（風浪）において浸食を受けず、出来ばえ、品質ともに良好であった。

◆受注者からのPR

- ・本工事は他工区の業者と輻輳するため、安全連絡協議会を立ち上げ、月間工程の確認や現場内通行規制などについて密に情報交換を行った。
- ・事務局担当として各社の意見を取りまとめ、隣接工区と作業区域が重複しないよう事前調整を行いながら作業を進めることで、作業の後戻りがなく無事故で工事を完成することができた。
- ・今後も技術研鑽と創意工夫に努め、技術力向上を図り、地域社会に貢献したい。

12 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	地方道路交付金工事(改築) 01-HF35-10		
路河川名/地区名	西目屋二ツ井線	施工地名	能代市二ツ井町荷上場
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	05-081607
請負額	152,207,000円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	監理技術者 池田 正広		
監督実施公所	山本地域振興局(建設部)		
主任監督員	鈴木 一利	監督員	佐々木 裕史
工期	令和元年12月13日～ 令和2年9月11日	完成年月日	令和2年9月11日
概要	1) 施工延長 476m 2) 路体盛土(ICT施工含む) 29,200 m ³ 3) 路床盛土 970m ³ 4) 補強土壁工 1式 5) 橋面防水工 1,270m ² 6) 下層路盤 1,596m ² 7) 表層 1,350m ² 8) 踏掛版工 32m ³		
特徴	1) 河川流用土を用いての路体盛土の施工 2) ICT建設機械を用いた路体盛土の品質管理 3) 既設市道との一部共有区間での施工		
写 真			
			
完成(路体盛土)		完成(橋面舗装)	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は「荷上場バypass」盛土工事で、現地盤より約5mの高さの路体盛土を行った。
- ・盛土材料は米代川掘削土の流用土が主体で、その他多種類の流用土を併せて使用することとなり、品質管理において均一な締め固め密度の確保が課題であったが、異なる土質毎に試験施工を行い、そのデータを基に最適なICT建設機械による施工を行い、良好な品質を確保した。
- ・軟弱土砂のセメント改良による混合攪拌作業時における近隣土地への飛散防止対策や、施工地域の祭典への協力等、地域住民との積極的なコミュニケーションにより良好な関係を築いた。
- ・本県が推進する建設現場における生産性向上・労働環境改善・担い手確保並びに建設業への女性の入職推進・就労継続を目的としたモデル工事に、他の模範となるように積極的に取り組んだ。

◆受注者からのPR

- ・本工事の主要工種は路体盛土であり、ICTを活用した方式により実施した。
- ・施工管理においては、TS・GNSSを用いた盛土の締め固め管理により、土質毎に試験施工を行い、データをICT建設機械に適用し、締め固めは土質の状態を考慮しブルドーザにより最適な転圧状態をリアルタイムで管理することで品質を確保した。
- ・建設業のイメージアップとして、ICTの全面的な活用施工、完全週休二日制実施のほか、女性技術員の登用を自主的に行った。
- ・地域の皆様から工事への理解と協力を得られるように、地域住民への工事の概略説明、挨拶など積極的にコミュニケーションを行った。

13 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	後野地区 緊急総合治山工事 RD1107A114		
路河川名/地区名	後野地区	施工地名	秋田市雄和相川
商号又は名称	伊藤工業株式会社	許可番号	05-001004
請負額	43,217,900円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 伊藤 満		
監理技術者等	現場代理人 伊藤 伸		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 文秀	監督員	工藤 岳
工期	令和2年2月7日～ 令和2年11月30日	完成年月日	令和2年11月24日
概要	1) 治山ダム工 N=2基 2) 流路工 L=86.8m		
特徴	1) 不安定土砂が大量に堆積している溪流内での工事 2) 施工期間中の豪雨時の対応		
写 真			
			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 完成(流路工) 完成(NO.2床固工) 完成(NO.3床固工) </div>			

◆監督実施公所の推薦理由


- ・当地区は、平成29年7月の豪雨により発生した山腹崩壊や溪岸浸食により、大量の不安定土砂が溪流内に堆積していることから、下流域の人家等を土砂災害から保全するため、治山ダム工2基及び流路工を施工した工事である。
- ・不安定土砂が大量に堆積している中での床掘作業は困難が伴うが、予め流末にネット柵工を設置し、下流域への土砂の流出防止に努めるとともに、廻排水など水替を徹底したことにより、施工期間中に複数回豪雨に見舞われたものの、被災することなく工事を完成した。
- ・流路工の施工にあたって、積ブロック曲線部の目地間隔及び角度調整が適切であり、良好な出来映えであった。

◆受注者からのPR

- ・軟弱な仮設道路条件下、支障木の伐木（約185本）及び敷鉄板（約200枚）敷設により、資機材搬入の安全性・効率性を向上させた。
- ・仮排水路、掘削面からの湧水処理施設等により良好な堰堤施工条件を確保することに努め、計画工程に遅れが生じること無く工事を完成させた。

1 4 第 4 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	北浦漁港地区 水産物供給基盤機能保全工事 40502-K01		
路河川名/地区名	北浦漁港地区	施工地名	男鹿市北浦
商号又は名称	株式会社清水組	許可番号	00-011421
請 負 額	37,549,600 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 清水 隆成		
監理技術者等	現場代理人 金子 一平		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	田中 佳輝	監 督 員	保坂 征耶
工 期	令和2年6月22日～ 令和2年11月20日	完成年月日	令和2年11月20日
概 要	1) 浚渫工 A=7,549m ² V=7,366m ³		
特 徴	1) 漁業繁忙期を考慮した限られた工期 2) 週休二日制、女性技術者登用、快適トイレ等のモデル的施工体制		
写 真			
			
完成（全景）		GPSシステムを活用	
		クロモ漁場へ配慮した 汚濁防止膜の設置	

◆監督実施公所の推薦理由


- ・本工事は、緊急時避難港に指定されている北浦漁港の必要な水深を確保するために実施した浚渫工事である。
- ・北浦漁港は、夏場のクロモ・冬場のハタハタ時期と漁業者の繁忙期を考慮した施工工程が求められ、時間的制約が非常に大きい工事であった。
- ・GPSシステムを活用した測量等を行い漁船通行の障害を最小限に抑える取り組みを行った。
- ・週休二日制、女性技術者登用及び快適トイレ等の設置など、県で進めているモデル的施工体制への率先した取り組み、また、高校生の社会見学など建設業界の魅力アピールに努めた。
- ・北浦愛港会の一員としてロードアダプト活動を行い、地域環境維持に貢献した。

◆受注者からのPR

- ・「施工適期の作業断念」と「ハタハタ漁前までの工事完成」という制約がある中、作業船見直しによる施工能力の向上と、漁業関係者との密な工程調整により、ハタハタ漁期前までに工事を無事完成させることができた。
- ・主任技術者に女性を配置し、快適トイレや更衣室等により現場環境の改善を図るとともに、地元高校生の社会見学受け入れにより建設業の魅力アピールした。

15 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	大規模特定河川工事 01-KG20-20		
路河川名/地区名	太平川	施工地名	秋田市櫛山太田町
商号又は名称	株式会社加藤建設	許可番号	05-002392
請負額	149,021,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 加藤 正己		
監理技術者等	現場代理人 藤原 頌規		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	児玉 光広	監督員	佐藤 綾斗
工期	令和2年3月13日～ 令和2年12月23日	完成年月日	令和2年12月23日
概要	1) 施工延長 L=151.9m 2) 河川土工 掘削 V=12,500m ³ 3) 護岸工 A=890m ² 4) 橋台撤去工 N=1式		
特徴	1) 水位が上昇しやすい河川内における仮締切下での護岸施工 2) 過去に苦情が多発した地域での10,000m ³ を超える土砂運搬 3) 急曲線下での張ブロックの施工		
写 真			
			
着工前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由


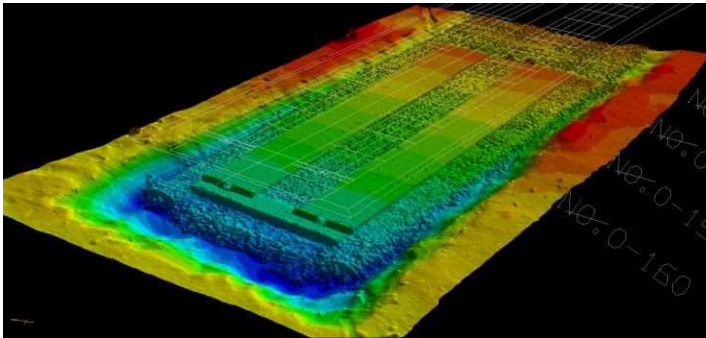
- ・当工事は蛇行した河川の中流域に位置し、河口からも離れているため降雨後は即座に河川水位が上昇する現場である。
- ・仮締切に工夫を行い、仮設道路と仮締切を両立する断面を立案・施工したことにより、増水による作業休止日の発生抑制に努めた。
- ・近隣住民への騒音・振動対策を綿密に講じた他、地域住民とのコミュニケーションもよく図った上で工事を進めていた。
- ・張ブロック施工は急曲線で現場打ち部をなくすよう工夫し、精度の良いものに仕上がった。
- ・各工程において安全・工程・品質を確保できるような工夫が見られたことは高く評価できる。

◆受注者からのPR

- ・仮締切を嵩上げし水位上昇対策を行ったものの、それを遥かに上回る水位上昇が頻発したことで復旧に時間と労力が費やされた。
- ・苦情が頻発している地区であったため、作業員に騒音・振動対策を徹底させるとともに、地域住民とのコミュニケーションを積極的に図り、苦情の抑制に努めた。
- ・ブロック張りは次期工事を見据え、急曲線部でも現場打ちを行わないよう工夫を行った。

16 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	統合補助改修工事 02-PC12-10		
路河川名/地区名	船川港	施工地名	船川港本港地区
商号又は名称	株式会社沢木組	許可番号	05-005082
請負額	66,072,600円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 沢木 則明		
監理技術者等	現場代理人 杉本 健彦		
監督実施公所	船川港湾事務所		
主任監督員	伊藤 俊美	監督員	小野 伸太郎
工期	令和2年10月16日～ 令和3年3月19日	完成年月日	令和3年3月19日
概要	1)本均し 2)張りブロックA 製作・据付 3)被覆石	A=710m ² N=18個 V=171m ³	
特徴	1)船揚場の改良工事 2)海中部の高度な施工管理が要求される工事		
写 真			
			
完成(施工箇所全景)		マルチビーム深淺測量(3D図面)	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 施工にあたり最新の機器を搭載したスパッド付き起重機船を使用し、搭載されたICT施工管理システムを活用したことにより、張りブロックの据付や被覆石の投入等において、作業効率と精度の向上が図られた。
- ・ 施工管理ではマルチビーム深淺測量や水中ドローン等により、不可視の海中部の施工精度の向上が図られ、出来形が特に良好であった。

◆受注者からのPR

- ・ 水中部の視程が確保できない中、マルチビーム測深機による測深・可視化により施工各段階での出来形・出来栄を確認でき、施工精度の向上に寄与した。
- ・ ICT施工管理システムを搭載した起重機船を用い、張りブロック据付を行ったことで、現場測量の省力化、工程の短縮及び施工精度の向上を図ることができた。
- ・ 近隣関係機関等に対する「お知らせの配布」、「密な施工調整」により円滑な施工を図った。

17 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事



◆工事概要			
工事名	県単道路改築工事 01-1104-20		
路河川名/地区名	北の又井川線	施工地名	南秋田郡井川町坂本
商号又は名称	株式会社板橋組	許可番号	05-001354
請負額	44,205,700円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 板橋 広光		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 忠成		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	菅原 昭磨	監督員	船木 弘大
工期	令和2年5月22日～ 令和2年12月25日	完成年月日	令和2年12月24日
概要	1) 県道拡幅及び歩道設置工事 L=140.6m W=5.5(9.0)m 2) 舗装工(表層) A=1,338m ² 、側溝工 L=232m 3) カルバート工 1号横断暗渠 L=24m、2号横断暗渠 L=13m		
特徴	1) 拡幅部分について路床が軟弱で、置換えを要した工事 2) 施工箇所を支障物があり、暗渠の形状変更、支障物移設の調整等の対応をした工事		
写 真			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">着工前</div> 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">完成</div> 	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当工事は県道拡幅工事であり、通学路に指定、路線バスも通行するため、工事施工によって住民が受ける影響は大きく、工程管理が大切な現場である。 ・ 函渠の施工では、施工箇所が重複する関連工事との調整を十分に行い、工程の短縮に努めた。 ・ 施工においても、平坦性について超音波センサーを用いた精度の高い出来形管理を行った。 ・ 地域住民への影響を十分に考慮する等細心の注意を払った結果、様々な支障物がある現場であったが苦情もなく、完成することができた。 ・ 基本に忠実な施工を実践した上で、臨機応変な対応をして完成させたことは高く評価できる。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の支障となる埋設物（井川町上水道管等）の存在が工事着手後に判明し、工程的に切り回し後の冬期間表層舗設を余儀なくされ、ロードヒーターによる解氷・消雪や、組立式パイプテントの活用により舗装品質の確保に努めた。 ・ 工事箇所が通勤・通学ルートであることから作業開始時間を8時40分とし、工事案内チラシ・井川町広報等で現道交通者への周知・配慮を図るとともに、騒音・振動対策により近隣住民の生活環境保全に努めた。

18 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	道路災害関連工事 01-KD10-10		
路河川名/地区名	国道101号	施工地名	男鹿市脇本
商号又は名称	株式会社寒風	許可番号	00-023067
請負額	171,615,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役社長 菅原 廣悦		
監理技術者等	現場代理人 安藤 明		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 浩喜	監督員	三浦 学
工期	令和2年3月2日～ 令和2年9月30日	完成年月日	令和2年9月30日
概要	1) 現場打ち函渠工 L=45m		
特徴	1) 厳しい現地条件の中での工程調整 2) 早期に開通が求められた復旧工事		
写 真			
<div data-bbox="193 954 882 1339"> <p>全体写真</p>  </div>		<div data-bbox="903 954 1426 1339"> <p>支保工のユニット化</p>  </div>	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・海と史跡と既設トンネルに3方向を囲まれ、工事用道路の幅員も制限される等厳しい条件下、観光地への観光ルートとして早期開通を求められ、更に最大10の施工業者が乗り込む約200m程度の狭い工区で、工事着手時から設定されていた令和2年12月開通を遅れることなく実行できた。
- ・関係する14工区の施工業者で安全協議会を設立し、12月に開通できるような協議会全体工程表の作成、最低月1回の全体工程会議を開催、常日頃から現場代理人や現場責任者間の連絡を密に行い、材料の手配・搬入や施工手順を工区全体を1つの現場と捉え、全業者の時間的なロスを最小限に抑えた。

◆受注者からのPR

- ・施工箇所が脇本城跡と海に囲まれ、施工ヤードが狭小かつ複数社が輻輳する作業の中、材料の搬入から搬出全てにおいて、各社との調整が必要であった。これに対して全体工程会議等で密な工程調整を図り、当初目標通り令和2年12月の供用開始に至った。
- ・支保工のユニット化による生産性向上、側壁型枠の透明アクリル使用による打設状況可視化で品質の向上を図った。

19 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	道路災害関連工事 01-KD10-20		
路河川名/地区名	国道101号	施工地名	男鹿市脇本
商号又は名称	三和興業株式会社	許可番号	05-080626
請負額	123,270,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 武田 昭彦		
監理技術者等	現場代理人 大槻 成紀		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 浩喜	監督員	三浦 学
工期	令和2年3月2日～ 令和2年9月30日	完成年月日	令和2年9月30日
概要	1) 現場打ち函渠工 L=45m		
特徴	1) 厳しい現地条件の中での工程調整 2) 早期に開通が求められた復旧工事		

写 真



全体写真



工程調整による工事車両の通行整理


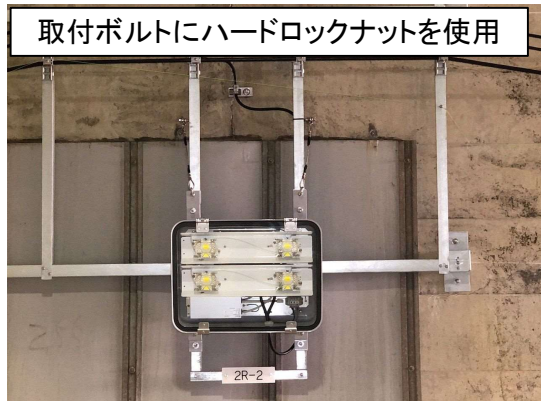
◆監督実施公所の推薦理由

- ・海と史跡と既設トンネルに3方向を囲まれ、工事用道路の幅員も制限される等厳しい条件下、観光地への観光ルートとして早期開通を求められ、更に最大10の施工業者が乗り込む約200m程度の狭い工区で、工事着手当時から設定されていた令和2年12月開通を遅れることなく実行できた。
- ・関係する14工区の施工業者で安全協議会を設立し、最低月1回の全体工程会議を開催、常日頃から現場代理人や現場責任者間の連絡を密に行い、令和2年12月に開通出来るよう時間的なロスを最小限に抑えた。また余裕のない工程の中でも品質管理回数を多く行い、品質向上に努めた。

◆受注者からのPR

- ・飛来塩分の影響を多大に受ける立地環境下、温度ひび割れ抑制のための誘発目地設置、圧縮強度試験及びかぶり測定回数の増加で品質確保に努めた。
- ・大型トレーラー、ミキサー車等の大型車両通行の輻輳、現場鉄筋加工ヤードの確保という施工上の問題に対して、近接工区と鉄筋加工・資材搬入・コンクリート打設工程を協議し、必要な鉄筋加工ヤードは共有とし、打設工程は重複しないよう調整して円滑に工事を完了した。

20 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路交付金工事（災害防除） 01-FI64-10		
路河川名/地区名	国道101号	施工地名	男鹿市脇本
商号又は名称	千代田電気工業株式会社	許可番号	05-001951
請負額	59,063,400円	工種・格付	電気 A級
代表者	代表取締役 小野地 慎一		
監理技術者等	現場代理人 利部 実		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 浩喜	監督員	三浦 学
工期	令和2年3月27日～ 令和2年11月30日	完成年月日	令和2年11月30日
概要	1)道路照明灯設備 坑外灯 N=2基 2)トンネル照明設備（LED） N=55台 3)非常用設備補修 N=1式		
特徴	1)隣接する災害関連工事の工事用車両が絶えず走行する既設トンネル内での照明更新工事 2)最大14工区が関連する工事区間での工程調整		
写 真			
 <p>完成写真</p>		 <p>取付ボルトにハードロックナットを使用</p>	

◆監督実施公所の推薦理由	
	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する14工区の施工業者で安全協議会を設立した。12月に開通できるような協議会全体工程表の作成、最低月1回の全体工程会議開催、現場代理人や現場責任者間の密な連絡、材料の手配及び搬入を適切な時期に行うこと等により、全業者の時間的なロスを最小限に抑えた。 ・既設照明灯の撤去により視認性が低下した状況で他工区の工事用車両が絶えず往復するなど、現場の作業条件が非常に悪いなか、安全対策を徹底することで事故が発生しなかった。 ・地元警察署及び消防署を対象に、非常用設備の使用方法について講習会を開催した。

◆受注者からのPR	
	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具設置に際し、既設防水パネルと干渉する箇所については、別途器具取付アングルの製作・据付及び高さ・角度等調整により、設計照度を満足することができた。 ・照明器具には落下防止装置を施したほか、取付ボルトにはステンレス製のハードロックナットを使用し、振動等によるボルトの緩み止めを施し、さらなる安全性の向上に努めた。 ・トンネル電気設備について、近隣警察署・消防署を対象に説明会を開き、緊急災害時の対応方法を説明した。

2 1 第 4 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	上台地区 予防治山工事 RE1113A131		
路河川名/地区名	上台地区	施工地名	由利本荘市鳥海町上笹子
商号又は名称	有限会社三浦土木	許可番号	05-012221
請 負 額	34,658,800 円	工種・格付	法面 A級
代 表 者	代表取締役 三浦 秀人		
監理技術者等	現場代理人 阿部 雄一		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	小玉 正和	監 督 員	高橋 正昭
工 期	令和元年8月9日～ 令和2年6月19日	完成年月日	令和2年5月28日
概 要	1)山腹工 A=0.17ha 2)簡易法枠工 A=1,698.1m ²		
特 徴	1)山腹崩壊発生による土砂の河川及び農業用水路への崩落 2)河川閉塞、人家及び農地等保全のための斜面風化・侵食防止工事		
写 真			
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">着工前</div> 		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">完 成</div> 	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該地区は、山腹崩壊が発生し、直下の一級河川丁川及び農業用水路へ土砂が崩落し、被害を与えた。
- ・崩壊箇所のため、地形が急峻であり、かつ多量の不安定土砂や倒木が堆積しており、また現場までの道も狭いため、悪条件の中での工事である。
- ・施工中においては、直下が河川であること及び地形が急峻であるため、降雨等による土砂の流出防止や安全面に特段の注意が必要とされた工事であった。
- ・上記のような非常に厳しい条件の中、工期の遅れ・労働災害・地元住民とのトラブルもなく、工事の出来映えも良好であったことから、表彰に値するものである。

◆受注者からのPR

- ・長大法面での人力掘削及び除根作業が難航したため、人員の増員や配置において対応した。
- ・現場直下にある河川や用水路に影響がないよう、崩落土を利用しポケットを作るなど対策を講じて施工を行い、完成させた。
- ・施工中の天候(大雪)により、雪崩が発生する危険性があったため、作業員の安全を優先して工事の一時中止や再開など安全管理に努めた。
- ・復旧した用水路の補強目的として、自主的にモルタル吹付を行い洗堀防止の措置を講じた。
- ・施工範囲外の用水路の清掃や周辺道路の草刈り作業など、ボランティア活動を積極的に行い、周辺住民の負担軽減に尽力した。

2 2 第 4 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 01-HF17-10		
路河川名/地区名	国道107号	施工地名	由利本荘市上大野
商号又は名称	村岡建設工業株式会社	許可番号	05-082020
請 負 額	106,054,300 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 村岡 兼幸		
監理技術者等	現場代理人 畠山 春樹		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	加藤 忍	監 督 員	菅原 敏弘
工 期	令和2年3月27日～ 令和3年3月26日	完成年月日	令和3年3月26日
概 要	1) 施工延長 L=184.8m 2) 迂回路設置工 N=1式 3) 地盤改良工 V=1,529m ³ 4) 旧橋撤去工 N=1式		
特 徴	1) 市街地部における地域に配慮した施工 2) 安全対策の徹底		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完成（迂回路設置工）</p>		 <p style="text-align: center;">完成（旧橋撤去工）</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、国道107号の4車線化工事である本荘道路工区における、旧橋撤去及びこれに伴う迂回路の設置工事である。 ・市街地部での工事のため、随時住民への工事内容の周知はもとより、商用電源活用による騒音防止、細やかな歩道除雪対応など、近隣に十分配慮することで、円滑に工事を完成させた。 ・また、交通量が多く、架空線が複雑かつ近接する区間であったため、使用する重機の規格変更や車両の小型化を図るなど、事故の未然防止対策についても評価できるものであった。 ・加えて、完全週休二日制モデル工事での実施の提案や、快適トイレの現場内設置など、建設現場における積極的な労働環境改善への取組は他の模範となるものであった。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所には多数の架空線があり移設も困難であったため、誘導員を配置し接触防止を図るとともに、使用する車両やクレーンについて架空線に影響しない機種を選定した。 ・地域近隣住民対応として、随時チラシを配布し、工事の案内や作業の連絡、道路切り替え等の情報を発信するなどしてコミュニケーションを深めた。また、騒音環境対策として商用電源の使用やシート養生を行い、円滑な工事の推進に努めた。 ・国道の切り替えについては、予告看板設置による一般ドライバーや歩行者への事前周知を行うことにより、円滑に実施することができた。

23 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	岩井沢地区 治山施設機能強化工事 RF1115A021		
路河川名/地区名	岩井沢地区	施工地名	仙北市田沢湖生保内
商号又は名称	万六建設株式会社	許可番号	05-004995
請負額	100,067,000円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 田中 恒雄		
監理技術者等	現場代理人 田口 健一		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	塩谷 学	監督員	油座 壘
工期	令和元年7月12日～ 令和2年7月22日	完成年月日	令和2年6月26日
概要	1) 治山ダム工（NO.5鋼製谷止工） N=0.4基 V=1,436.2m ³ 2) 仮設工 N=1式		
特徴	1) 秋田県駒ヶ岳砂防基本計画に基づく治山ダム工 2) 周辺環境に配慮した施工		
写 真			
			
完成		施工状況	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、秋田駒ヶ岳の火山噴火に起因し発生が想定されている土石流対策を含めた治山ダム工事である。 ・作業の安全管理、災害等への備えが優秀である。 ・冬期間豪雪地域の当該箇所、作業の効率化及び創意工夫により、工期内完成が図れた。 ・工事の出来形管理、品質管理ともに判りやすく取り纏められている。 ・地元との調整（コミュニケーション）を図ることで、工事が円滑に実施され、クレーム等の発生はなかった。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事施工箇所は観光地のため、近隣に宿泊施設等が多いことから、工事受注時及び工事完了時において工事広報を配布し、地域住民や関係者とのコミュニケーションを図った。 ・巨大な転石や、崩落の恐れがある土質などの対策を創意工夫を図ることで解決し、工事をスムーズに進めることができた。 ・緊急時及び災害時における油の流出事故対策として、現場内に油膜除去剤を配備して毎日の現場点検を実施し、油の流出事故を起こすことがなかった。 ・地元小学生より課外授業の依頼があり、工事の説明や重機の操縦体験を実施した。

24 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	松葉地区 予防治山工事 RF1114A011		
路河川名/地区名	松葉地区	施工地名	仙北市西木町桧木内
商号又は名称	株式会社鈴建興業	許可番号	05-009776
請負額	41,264,300円	工種・格付	一般土木 B級
代表者	代表取締役 鈴木 一義		
監理技術者等	現場代理人 八柳 健太		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	塩谷 学	監督員	油座 壘
工期	令和2年5月25日～ 令和2年12月16日	完成年月日	令和2年11月30日
概要	1) 治山ダム工(コンクリート谷止工1基、コンクリート床固工2基) N=3基 V=482.9m ³ 2) 仮設工 N=1式		
特徴	1) 急峻・狭隘な地形における安全対策の徹底、適正な施工管理 2) 施工地周辺の住民との意見調整、および施工地周辺への地域貢献		
写 真			
 <p>NO.1コンクリート床固工</p>		 <p>NO.4コンクリート谷止工</p> <p>NO.3コンクリート床固工</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は溪床幅の狭い箇所や、足場が悪い箇所もあり、安全管理には配慮が求められた状況で、これまでの経験を生かした技術力や、創意工夫により、効率的な施工が図られ、安全対策のみならず、工程や出来形及び出来ばえについて優秀であった。 ・工事を円滑に進めるため施工地の土地所有者および地元との調整を積極的に行うことにより、トラブル回避に努めた。 ・工事施工地周辺の不具合の生じている施設において、修繕を行うなどの地域貢献活動に自主的に取り組んだ。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・施工箇所は急峻且つ兩岸が岩盤で溪床も狭隘な地形であったが、使用する重機を工夫する等の安全対策に努めるとともに、自動追尾型のトータルステーションを活用し品質と施工性の向上にも努めた。また、現場周辺の危険箇所等について記したハザードマップを作成し、作業員に対して周知することで第三者災害の防止にも努めた。 ・地域住民に対し説明会を行うとともに、現場周辺の学校、飲食店とは連絡を密にし、作業時間や作業内容の調整を行うことでトラブルも無く工事を円滑に行うことが出来た。 ・地域に支えられている企業として、施工地周辺の経年劣化等による損傷や構造上の問題がある箇所において積極的に修繕等を行い、地域に貢献することができた。

25 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	河川災害復旧助成工事 30-KJ11-30		
路河川名/地区名	櫛岡川	施工地名	大仙市南外
商号又は名称	村岡・山勇特定建設工事共同企業体		
請負額	348,504,500円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	村岡建設工業株式会社	代表取締役	村岡 兼幸
許可番号	00-82020	監理技術者等	現場代理人 松田 晋
(構成員)	山勇建設工業株式会社	代表取締役	猪股 勇樹
(許可番号)	00-001166	(監理技術者等)	主任技術者 小松 圭司
監督実施公所	仙北地域振興局 (建設部)		
主任監督員	船木 孝仁	監督員	吉田 一哉
工期	平成31年3月27日～ 令和2年10月30日	完成年月日	令和2年10月30日
概要	1) 施工延長 L=302.9m (仮廻し道路) 2) 橋台工 N=1基 3) 樋門工 N=1基 4) 護岸工 A=1,129m ²		
特徴	1) 平成29年7月豪雨で氾濫・被災した櫛岡川の改良復旧工事 2) 多様な工種と他機関の占用工事との工程調整を要する工事		
写 真			
			
完成(仮廻し道路) 完成(排水樋門) 完成(A2橋台)			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 場所打ち杭を要する橋台や橋台周りの地盤改良、矢板基礎や護岸、排水樋門等のほか、他機関による占用工事（電力、NTT、水道、光ケーブル）と並行しながら高盛土による市道の仮廻しも行うという、非常に多くの工種を有し、調整を要する難易度の高い工事であった。
- ・ このなかで、緻密な施工計画と複数パーティーによる工程管理、安全管理を徹底し、各関係者との調整を行うことで、遅滞なく、無事故で完成させた。

◆受注者からのPR

- ・ 橋台、排水樋門、護岸、築堤盛土等を同時期に施工するため各工種の作業間調整と工程管理を徹底して行い、工期内完成を図った。
- ・ 近接する他の工事と打合せを密にして共有する工事用道路使用の調整や、狭い市道では大型車両を一方通行にして交通渋滞等トラブルを防止した。
- ・ 排水樋門工の仮設で、樋門が完了するまでの堤内側の排水をポンプアップで処理し、掘削法面を大型土のうで抑え、シートで覆い崩落防止措置をして安全に施工できるように努めた。
- ・ コンクリート構造物の脱型、支保工解体時期と埋め戻し時期を決定するため、それぞれの供試体採取して所定の圧縮強度が発生していることを確認してから作業した。

26 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	河川災害復旧助成工事 30-KJ11-95		
路河川名/地区名	櫛岡川	施工地名	大仙市南外
商号又は名称	株式会社佐藤建設	許可番号	05-011646
請負額	230,914,200円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 佐藤 吉博		
監理技術者等	現場代理人 高橋 未来大		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	船木 孝仁	監督員	寺田 洋介
工期	令和2年5月25日～ 令和3年3月31日	完成年月日	令和3年3月29日
概要	1) 施工延長 L=390.8m 2) 河川土工 N=1式 3) 護岸工 A=3,620m ²		
特徴	1) 平成29年7月豪雨で氾濫・被災した櫛岡川の改良復旧工事 2) 地域の関心が非常に高く、早期の工事完成が望まれていた		
写 真			
			
完成(右岸)		完成(旧河川部護岸)	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 櫛岡川の出水対応に加えて、降雨時の旧河川内における水位上昇等に配慮した施工を実施し、施工中において内水被害もなく工事を完成させたことにより、地域住民からも十分に評価された。 ・ 同時期に樋門工事が進行する中で、双方の工事に遅れがでないよう施工方法の検討を行い、工程管理を着実に実施し、出来映えもよく現場を完成させた。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 櫛岡川での過去の工事経験から、出水時における最重点ポイントを旧河川合流部の仮設工の計画と考えた。 ・ 旧河川合流部の内水対策・護岸基礎の先行・重機作業床の確保といった課題を、大型土のうの3段階での高さ調整や河床部への工事用道路造成・大型土のうでの工事箇所の一連締切を行うことで安全に完成することが出来た。 ・ 導流工や取水施設付近の堆積土除去を行い、地域の方に喜んで頂いた。

27 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	河川災害復旧助成工事 30-KJ11-94		
路河川名/地区名	櫛岡川	施工地名	大仙市南外
商号又は名称	Takamitsu株式会社	許可番号	05-060216
請負額	368,876,200円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 高橋 篤美		
監理技術者等	現場代理人 藤原 義仁		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	船木 孝仁	監督員	小塚 貴紀
工期	令和元年6月10日～ 令和2年10月16日	完成年月日	令和2年10月16日
概要	1) 施工延長 L=252.1m 2) 排水樋門工 N=2基 3) 護岸工 A=2,091m ² 4) 取水施設工 N=1基		
特徴	1) 平成29年7月豪雨で氾濫・被災した櫛岡川の改良復旧工事 2) 点在する3箇所のコンクリート構造物の同時施工を実施		
写 真			
 <p style="text-align: center;">完成(排水樋門)</p>		 <p style="text-align: center;">完成(取水施設)</p>	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 点在する3箇所の構造物を同時施工するために要求される高度な工程管理を実践し、田植えまでの制約期間内に完成させた。 ・ コンクリート構造物において、ひび割れ等は発生しておらず、十分な品質が得られている。 ・ 施工箇所へのアプローチ方法は、概成済みの堤防を損傷しないよう、最小限のスペースを利用し、工事用坂路の運用方法としてスイッチバック方式を適用したこと等が評価できる。 ・ 工事による振動や騒音に敏感な住民にも理解が得られるよう、率先して地域住民とコミュニケーションを図ったことは、他の模範となるものであった。

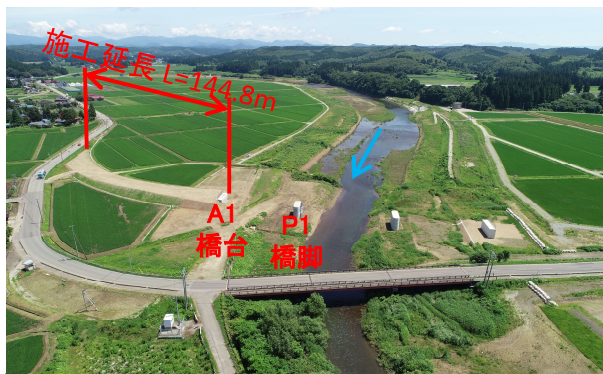
◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的規模の大きい3箇所のコンクリート構造物を基礎の地盤改良も含めて同時進行で施工することは、今まで経験が無く、初めてのことであった。 ・ 田植え前までに確実に完成させるための工程管理、各箇所における確実な施工管理と品質管理を常に意識し、これらを徹底することで、制約期間内に完成させることができた。 ・ 当工事は、技術の向上においてもとても良い経験になった。

28 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

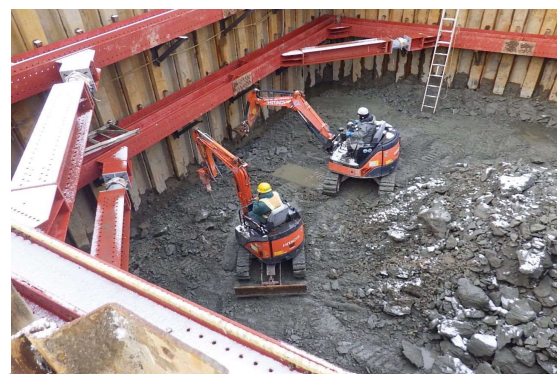
◆工事概要

工事名	河川災害復旧等関連緊急工事 01-KE11-90		
路河川名/地区名	淀川（国道341号）	施工地名	大仙市協和下淀川
商号又は名称	秋田振興建設株式会社	許可番号	05-000250
請負額	212,300,000円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 小原 吾朗		
監理技術者等	現場代理人 木元 公洋		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	木場 俊明	監督員	保坂 尚志
工期	令和元年9月6日～ 令和2年7月31日	完成年月日	令和2年7月20日
概要	1) A1橋台 N=1基 3) 道路改良工 L=144.8m 5) 排水構造物工 N=1式	2) P1橋脚 N=1基 4) 路体盛土 V=5,510m ³	
特徴	1) 平成29年7月豪雨の災害復旧に関連した淀川下流の改良工事 2) 施工中も豪雨や出水の影響を伴う河川内での橋台、橋脚の工事		

写 真



完成



土留仮締切工施工状況

◆監督実施公所の推薦理由

- ・河川内での非常に湧水の多い土留仮締切内の作業において、スレーキング対策や湧水処理に関する創意工夫を実施し、良好な作業環境と工事の品質確保に努めた。
- ・特にP1橋脚の土留仮締切工においては、施工業者で当初設計の照査を行い、腹起材と火打梁の配列について横1列×縦5段の配置から、横2列×縦3段の配置への設計変更を提案し、油圧ジャッキの基数を減らすことができ、工事費の縮減と床堀の施工性向上に貢献した。
- ・施工者が自ら、設計照査を実施、提案する積極的な姿勢が評価される。

◆受注者からのPR

- ・床掘作業時には、仮締切内の限られた狭い作業空間で重機と作業員が混在して作業する為、相互の接触、挟まれによる事故が懸念されたので、毎日の朝礼時に作業手順と重機・作業員・監視員の配置、その作業による危険予知を綿密に確認することで、安全に作業する事が出来た。
- ・直接基礎の支持地盤がスレーキングしやすい地盤であるため、スレーキング防止対策として、支持地盤を露出させないようブルーシートで養生し、極力時間を空けず早急に均しコンクリートを設計よりも広く打設することにより、直接湧水の浸入を防ぎ、支持地盤を乱すことなく施工することが出来た。


29 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	浅舞北部地区 農地集積加速化基盤整備工事 09602-K06		
路河川名/地区名	浅舞北部地区	施工地名	横手市平鹿町浅舞
商号又は名称	有限会社泉谷土木	許可番号	05-008036
請負額	141,026,600円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 泉谷 悟		
監理技術者等	現場代理人 奥山 英樹		
監督実施公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	伊藤 清貴	監督員	菅原 裕輔、北野 恋
工期	令和2年3月27日～ 令和2年12月18日	完成年月日	令和2年11月13日
概要	1) 整地工 A=11.2ha 2) 用水路工 L=1,782m 3) 排水路工 L=1,293m 4) 道路工 L=1,214m		
特徴	1) 整地工における高品質化・効率化と水路の長寿命化対策への取組 2) 工事安全協議会会長として率先して安全な施工体制を構築		
写 真			
			
完成（全景）		完成（排水路工）	
整地工施工状況			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・浅舞北部地区工事安全協議会（11社）の会長として、同地区他工区の企業と連携を密にしながら、受益者とのトラブルや第三者への災害防止に努めると共に地域への貢献を行った。 ・整地作業、掘削・法面整形などの土工作业において、オートレーザレベルや法面勾配測定器を導入するなど、高品質化、効率化に向けた工夫が見受けられ、出来映えも優れていた。 ・濁水流出防止対策として新素材のバイオフィルターを取り入れた対策を実施し、これまで以上に河川環境への配慮がうかがえる。 ・排水路基面部での軟弱地盤箇所の置換基礎処理や用水路への伸縮目地の施工など、施設の長寿命化に向けた工夫を行っている。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・整地均平作業において、オートレーザレベルの使用により高精度・迅速化を図った。 ・畦畔溝畔の仕上げにおいて、オートレーザレベルと法面勾配測定器を使用して作業を行い、丁張の簡素化や人為的ミスを防止した。 ・河川環境への配慮として、天然ヤシ繊維で構成されたバイオフィルターを各水路へ設置し、濁水流出防止に努めた。 ・下流域ほ場への通水手当や隣接民家への騒音振動対策等厳しい条件下であったが、効率的な施工や工程管理を綿密に行った結果、予定工期より1カ月ほど早く完成することができた。

30 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	道路メンテナンス工事(橋梁補修) 02-F157-10		
路河川名/地区名	川連増田平鹿線	施工地名	横手市増田町増田
商号又は名称	株式会社大和組	許可番号	05-001135
請負額	96,771,400円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 大和 康範		
監理技術者等	現場代理人 大和 永二郎		
監督実施公所	平鹿地域振興局(建設部)		
主任監督員	佐々木 嘉樹	監督員	神田 誠
工期	令和2年8月28日～ 令和3年3月22日	完成年月日	令和3年3月22日
概要	1) 橋長 L=297.6m 幅員 W=7.0(8.5)m 2) ポリマーセメント巻立工 N=1基、橋脚コンクリート巻立工 N=1基		
特徴	1) 国が管理する河川での渇水期(冬期)に限定された施工 2) 低温時の施工のため打設コンクリート等の品質確保が重要		
写 真			
			
完成(P2橋脚)		完成(P3橋脚)	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・国が管理する一級河川成瀬川に架かる「成瀬川橋」の耐震補強工事である。 ・施工時期が渇水期(10/1～3/31)に限られる中で、既設橋脚の配筋等の状況確認や橋脚巻立等の補強工事を効率的に施工し完成させている。 ・令和2年度の冬はまれにみる豪雪であり、限られた工期であることから作業ロスも懸念されたが、新技術導入や創意工夫により工期短縮を図った。 ・橋脚巻立工事において、出来形や品質確保のために積極的に工夫を凝らし工事を完成させた。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は河川協議における施工時期に制約があり、2橋脚を非出水期で完工することが必須だったため施工方法の検討・工夫を常に意識しながら作業の効率化及び工程管理に努めた。 ・足場の仕様変更、下地処理工法の変更、コンクリート打継目処理剤の使用等により作業の効率化を図った。 ・新旧コンクリートの付着力試験、新設鉄筋の付着力試験等を実施し、ひび割れ低減対策、寒中コンクリート施工時の養生方法を工夫し品質向上に努めた。



3 1 第 4 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金工事（橋梁補修） 01-F157-40		
路河川名/地区名	横手大森大内線	施工地名	横手市大森町
商号又は名称	株式会社山田塗料店	許可番号	05-000120
請 負 額	47,853,300 円	工種・格付	一般塗装 A級
代 表 者	代表取締役 山田 進		
監理技術者等	主任技術者 小野 正志		
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 嘉樹	監 督 員	藤田 聖也
工 期	令和2年8月7日～ 令和3年3月19日	完成年月日	令和3年2月19日
概 要	1) 施工延長 L=37.0m 2) 塗装面積 A=1,340m ²		
特 徴	1) 非出水期の限られた期間内で十分な品質を確保 2) 隣接する工区との工程調整		
写 真			
			
完成（上流側）		完成（下流側）	
完成（下面）			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当橋梁は一級河川雄物川に架かる橋であり、非出水期の限られた期間内で塗装の品質を確保しながら施工する必要があった。 ・ 隣接する他工区と工程調整をし、余裕を持って工事を完了することが出来た。 ・ NETIS登録の高塗着スプレー工法を採用することで、均質な塗膜厚を得て品質を向上させ、作業環境改善による安全性の確保、吹き付け時のスプレーミスト飛散防止による第三者への被害防止など環境保全に努めた。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗装時期が冬期となる事により、温度湿度を確保するために検討した結果、足場朝顔の板張防護工にすべてシートを貼り、温度の変動を少なくし、湿気の一定箇所への留まりを無くすために送風機を導入した。 ・ 上塗施工時期には、外気温が5℃未満になってしまった為、熱風ヒーターを導入し温度を確保した上で作業にあたり、塗膜厚及び出来映えを確保し、無事に工事を終えることが出来た。



3 2 第 4 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	深堀地区 基幹水利施設ストックマネジメント工事 04602-K02		
路河川名/地区名	深堀地区	施工地名	湯沢市深堀・羽後町赤袴
商号又は名称	株式会社佐藤建設	許可番号	05-005263
請 負 額	105,288,700 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 清次		
監理技術者等	現場代理人 高橋 和大		
監督実施公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 哲哉	監 督 員	伊藤 嘉史
工 期	令和2年8月24日～ 令和3年3月26日	完成年月日	令和3年3月26日
概 要	1)排水路工 L=791.3m		
特 徴	1)記録的豪雪下での施工体制確保による完全週休二日制の達成		
写 真			
着工前		完 成	
			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は老朽化した幹線水路を更新する工事であり、水路沿いのほ場内に仮設道路を設置する必要があるため稲刈後の施工開始となり、工期や仮設に制約のある工事であった。さらに記録的豪雪の影響により施工できない期間があったにも拘わらず、直ちに工程のフォローアップを行い、綿密な工程管理のもと完全週休二日を達成した。 ・工事着手前には地域住民に工事内容を記載したチラシを配布して注意喚起し安全を図った。 ・豪雪時に「みわこども園」の雪下ろしや、水路内のゴミ拾いやカーブミラーの解氷作業を行うなど、地域への貢献度が高い工事であった。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、記録的豪雪の影響により、現状の態勢のままでは工期内完成が困難となったため、作業員や仮設材を増班して施工の省力化と工期短縮に積極的に取り組み、工程の遅れを取り戻し、工期内に完成することができ、さらに完全週休二日制（4週8休以上）を達成できた。 ・水路撤去時にコンクリートブレーカーを使用し取壊を行うと、周囲にコンクリート片が飛散する恐れがあるため、グラップルを使用し直接ダンプに積み込むことで、農地や通行する車両への影響を未然に防いだ。 ・記録的豪雪災害のため、地域から除雪や雪下ろしの要請が有り、当現場では、近隣の「みわこども園」の雪下ろし及び除排雪作業を現場を休工し実施した。


3 3 第 4 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金工事（橋梁補修） 01-F158-10		
路河川名/地区名	国道108号	施工地名	湯沢市秋ノ宮
商号又は名称	株式会社柴田組	許可番号	05-000321
請 負 額	89,596,309 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 柴田 晋		
監理技術者等	現場代理人 伝法 俊幸		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	築瀬 秀樹	監 督 員	三浦 俊明
工 期	令和元年12月27日～ 令和2年12月24日	完成年月日	令和2年12月24日
概 要	1) 橋脚コンクリート巻立て工 192m ³		
特 徴	1) 太径鉄筋や密な配筋などに伴う施工の工夫 2) 降雪により施工期間が限られるなかでの施工		
写 真			
			
完成(P4巻立て工)		完成(P3巻立て工)	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当現場は国道108号から林道を2km程度入ったところにあるため冬期間はアクセス不能となり、また、役内川を渡河しないと橋脚にアクセスできないなど制約のある現場であった。 ・ 渡河部の工事用道路が流されアクセス不能となり工事が行えない不測の日数を要したが早急な復旧を行い、その後の適切な工程管理と施工の工夫によってフォローアップを図り、降雪前に工事を完成させたことは高く評価できるものである。 ・ 太径鉄筋など密な配筋へのコンクリート打設は工夫を行い、品質を確保した。 ・ 現場への唯一の搬入路である林道は、虎毛山の登山者や釣人が通る道路でもあることから、定期的な草刈りや路面補修、安全看板の設置など安全対策を行い、安全管理も高く評価できる。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 搬入路となる林道は降雪により通行が不可能となることから、施工時期が限られており、太径鉄筋の加工など材料納入に時間を要することや、河川の増水等による施工の中断が想定されたため、工程管理が肝と考えられる現場であった。 ・ 専門工など関連会社が多く、余裕がある工程ではなかったため、工程に変更があった都度、各社と調整を行い、本格的な降雪前に完成させることができた。 ・ 現場は昼夜の温度差が大きくひび割れの発生に特に注意が必要で、配筋が密なことや橋脚形状により、骨材分離対策などが課題であったため、コンクリート打設方法や温度管理に注意を払いながら品質の確保に努めた。

3 4 第 4 2 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金工事（橋梁補修） 02-F158-30		
路河川名/地区名	国道108号	施工地名	湯沢市秋ノ宮
商号又は名称	日本機械工業株式会社	許可番号	05-080900
請 負 額	107,782,400 円	工種・格付	鋼構造物 A級
代 表 者	代表取締役 伊藤 俊永		
監理技術者等	現場代理人 五十嵐 幸夫		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	築瀬 秀樹	監 督 員	東海林 寛生
工 期	令和2年8月3日～ 令和3年3月17日	完成年月日	令和3年3月17日
概 要	1) 落橋防止システム工（水平力分担構造7基 他） 2) 支承工（支承防錆工11基）		
特 徴	1) 新川井橋の耐震補強工事 2) 隣接工事との作業調整及び工程管理 3) 厳寒期の施工における出来形及び品質管理		
写 真			
			
完成(P2側)		完成(A2側)	
落橋防止システム工			

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新川井橋の耐震補強工事は、同時期に複数の工事が実施されていたことから、橋梁上からの作業時期が限定される状況であり、隣接する工事業者と入念に工程会議を実施し、自社のみならず隣接工事も工期内に工事を完成させた。 ・ このような制約があるなか、積極的に工期短縮に努めるとともに、出来形及び品質において高い精度で管理したことは高く評価できるものである。

◆受注者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部材の製作期間を短縮するため調査計測と共に現場削孔を実施して孔位置を特定し、工場製作品の納入時期を早めるとともに、購入品の設計対応を迅速に出来るようメーカーと現場情報のやり取りをして工期内に完成できた。 ・ 隣接する工区と、作業が競合しないよう工程会議を実施し、作業時期の変更や規制区間や方向を同一方向に揃えるなどの調整をして、作業遅れが発生しないよう施工した。 ・ 現場で取付する部材の施工時期が12月～2月と厳寒期となる為、施工足場に冬囲いを施すなど対策を講じて、高力ボルト締付等の施工温度を確保して凍結や結露による品質低下防止に努め良質な品質に仕上げた。

35 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	県立スケート場ホッケーリンク改修工事		
路河川名/地区名	2-SP01-1	施工地名	秋田市新屋町
商号又は名称	山二施設・羽後設備特定建設工事共同企業体		
請負額	149,809,000円	工種・格付	給排水暖冷房衛生設備 A級
代表者	山二施設工業株式会社	代表取締役社長	阿部 公雄
許可番号	05-080472	監理技術者等	現場代理人 田口 光一
(構成員)	羽後設備株式会社 代表取締役社長 佐藤 裕之		
(許可番号)	05-006094	(監理技術者等)	主任技術者 近藤 勝人
監督実施公所	観光文化スポーツ部 スポーツ振興課		
主任監督員	藤原 浩二	監督員	田中 大輔
工期	令和2年5月1日～ 令和2年9月30日	完成年月日	令和2年9月30日
概要	1)ホッケーリンク内ブライン配管の更新 2)床面コンクリートの更新1,800m ² 等		
特徴	1)既存土間面を残したまま、冷却管の敷設・コンクリートの打設 2)スポーツ施設として競技規則に即した規格への適合		

写真



着工前



完成(正面)



完成(側面)

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、既存設備（冷媒配管）の改修等であり、施工に当たっては作業スペースが狭小で施工が困難であったが、適切な施工管理・安全管理を行うことで円滑かつ安全な進捗に努めた。
- ・夏期における施工においては、生コンの品質管理や打設後の散水養生などコンクリートの暑中対策を徹底したほか、事業者からの提案による成分配合を採用し、品質の向上に努めた。
- ・施設の不具合（修繕必要箇所）を発見し、適時に施設管理者に報告を行った。
- ・スポーツ施設として、競技規則による規格に適合するよう精度管理を徹底した。

◆受注者からのPR

- ・日々感染症予防対策を徹底し、現場管理・作業を進め、昼食・休憩時は3密を回避した。
- ・リンク下ブライン設備改修は狭小な作業スペースであるため、作業員の入退管理・酸素濃度測定を実施するなど、作業員の安全を最優先と考え、施工に当たった。
- ・ホッケーリンクコンクリート打設後は朝夕の散水養生・温度管理を入念に行い、クラック等が発生しないよう重点管理に努めた。
- ・アイスホッケー公式国際競技規則を遵守し、アイスホッケーラインの精度を日々管理した。
- ・竣工後のリンク整氷作業スケジュールが決まっており、遅れの無いように施設担当者との連絡・工程調整を密に行い施工及び工程管理に努めた。

36 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	鎧畑発電所 3号機発電所建設工事 02-DK-44		
路河川名/地区名	鎧畑発電所	施工地名	仙北市田沢湖田沢
商号又は名称	佐藤建設株式会社	許可番号	05-002576
請負額	74,195,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 田村 保		
監理技術者等	現場代理人 堀川 章		
監督実施公所	産業労働部 公営企業課発電所建設室		
主任監督員	高橋 源太郎	監督員	小林 吉仁
工期	令和2年6月12日～ 令和3年1月15日	完成年月日	令和3年1月15日
概要	1) 発電所本体内工 N=1式 2) 水圧鉄管据付工 N=1式 3) 放水路工 N=1式		
特徴	1) 現場内へ資材、機械の搬入搬出方法の工夫 2) 水車・発電機の組立と通電試験の行うため工期の短縮の工夫		

写 真



◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、新型の水車発電機実証試験機である3号機発電所建設工事である。
- ・産・学・官の連携事業の一部である本工事は水車・発電機据付工事・電気設備工事も同時に発注されており、工程調整などの打合せが必要であった。
- ・建築物として工事監理担当建築士との施工監理・確認・検査など多くの折衝があったにもかかわらず、工程を遅れる事無く工事を完成させた。

◆受注者からのPR

- ・資材ヤード上空に高圧電線があり、安全管理を徹底して無事故無災害で工事を完成させた。
- ・現場の作業半径から、1t未満の機・資材は50tクレーン、1t以上の機・資材は100tクレーンを使用することとし、リースで遅れを生じさせないよう工程を見直し2カ月前に手配した。
- ・掘削時に作業効率を良くし、コスト縮減するためにレーザーレベルを使用した。
- ・ポンプ車は配管の不要なブーム長43mを使用し、コンクリートの品質の向上に努めた。
- ・水圧鉄管組立時、施工性と出来形管理の精度を確保するために架台を組立施工した。
- ・シェルター屋根組立の施工方法を検討して、カニクレーン(2.9t吊り)とクローラリフト作業車を現場に投入して予定よりも安全に早期に完了した。

37 第42回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工事名	能代地区専門系統合校 教室・特別・管理棟建築工事		
路河川名/地区名	能代市	施工地名	能代市盤若町
商号又は名称	大森・沢木・大高・佐藤庫特定建設工事共同企業体		
請負額	1,273,800,000円	工種・格付	建築一式 A級
代表者	大森建設株式会社 代表取締役 大森 三四郎		
許可番号	05-081607	監理技術者等	監理技術者 渡邊 健司
(構成員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許可番号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 三浦 一之
(構成員)	大高建設株式会社 代表取締役 大高 慎司		
(許可番号)	05-000967	(監理技術者等)	主任技術者 阿部 幸悦
(構成員)	株式会社佐藤庫組 代表取締役 佐藤 昌郁		
(許可番号)	05-006597	(監理技術者等)	主任技術者 菊池 政和
監督実施公所	北秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	鈴木 清施	監督員	馬渡 智彦
工期	令和元年10月11日～ 令和3年2月26日	完成年月日	令和3年2月26日
概要	1) 教室・特別・管理棟 鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建て1棟 建築面積 1,899.99m ² 延べ面積6,977.04m ²		
特徴	1) 狭小通路における資材運搬計画と第三者災害の防止対策 2) ウェルポイント工事による地下水発生の防止 3) 汚泥改良による資材リサイクルと運搬工程の短縮		

写真



完成(外観)



完成(普通教室)



完成(生徒昇降口)

◆監督実施公所の推薦理由

- ・狭小現場内での工事であること、隣接する既存校舎への騒音・振動に配慮を要すること、関連工事との十分な調整を要することなど、多くの制約ある中で工事を完成させた。
- ・適切な工程管理が図られたことにより、設計変更に伴う工期の延長を最小限に留め、予定通りの開校を実現させた。
- ・能代工業高校の生徒を対象にした現場見学会を実施し、県が推進する建設業の担い手確保に資する取り組みを行った。

◆受注者からのPR

- ・ウェブカメラを既存校舎へ設置し、現場事務所から常時現場内の状況確認ができ、安全管理や進捗状況の確認などに活用することで適切な現場管理に努めた。
- ・埋戻し土工のあるドライエリア部のコンクリート壁へ防水処理を行うことを提案した。
- ・工程に遅れが生じないように熟慮し、地中梁および上階柱配筋は鉄筋先行組立工法に、スラブ型枠を一般型枠からフラットデッキ型枠とした。
- ・能代工業高校の生徒を対象に現場見学会を行ったほか、安全管理に対する意識づけを目的に安全帯を寄贈した。

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	神部秀行
選考委員	総	務	部長	松本欣也
〃	農	林	水産部長	佐藤幸盛
〃	建	設	部長	佐藤秀治
〃	出	納	局長	奈良聡

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	浅井学
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)	
〃	部	会長 及川洋
〃	専	門委員 徳重英信
〃	専	門委員 後藤文彦
〃	専	門委員 佐藤悟
〃	専	門委員 長谷川兼一
〃	専	門委員 浅野耕一
〃	専	門委員 永吉武志
	(秋田県知事部局関係課室)	
〃	スポーツ振興課長	佐々木重夫
〃	参事(兼)農地整備課長	舩谷雅広
〃	水産漁港課長	大山泰
〃	森林整備課長	三森道哉
〃	公営企業課発電所建設室長	茂内孝
〃	建設政策課長	三浦卓実
〃	技術管理課長	小野潔
〃	道路課長	川辺透
〃	河川砂防課長	田森清美
〃	港湾空港課長	伊藤邦昭
	(秋田県教育庁関係課室)	
〃	総務課施設整備室長	安田一彦

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰及び地域振興局長表彰とする。

- 2 被表彰者は、施工企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂
平成12年4月1日一部改訂
平成16年4月1日一部改訂
平成18年4月1日一部改訂
平成19年4月1日一部改訂
平成20年4月1日一部改訂
平成21年6月1日一部改正
平成22年4月28日一部改正
平成23年4月25日一部改正
平成24年4月1日一部改正
平成28年2月9日一部改正
平成29年3月9日一部改正
平成30年3月16日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P43の名簿参照のこと

第7回 秋田県優良業務表彰 業務一覧表

測量業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	大戸川地区 かんがい排水業務 委託 00502-Y04	大戸川	東邦技術株式会社	石塚 三雄	仙北地域振興局
2	測量業務委託(県単砂防事業 (自然災害防止事業)急傾斜) 02-L400-Y1	大小路2号 工区	株式会社遠藤設計事務 所	遠藤 隼人	秋田地域振興局
3	測量業務委託(県単砂防事業 (自然災害防止事業)急傾斜) 02-L405-Y1	岩崎工区	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	秋田地域振興局

地質調査業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	県単道路補修事業(災害防除) 地質調査業務委託 02-G351-Y2	(主)十二所 花輪大湯線	創和技術株式会社	伊藤 隆喜	鹿角地域振興局

土木設計業務部門

番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	秋田8(仙北)地区 震災対策農 業水利施設整備業務委託 40601-Y03	秋田8 (仙北)地区	柴田工事調査株式会社	五十嵐 誠	仙北地域振興局
2	地方道路交付金事業(災害防除) 法面詳細設計業務委託 02-FI61-Y3	国道104号	ジオテックコンサルタンツ 株式会社	三笥 寛	鹿角地域振興局
3	地方道路交付金事業(災害防除) 一般構造物予備・詳細設計業務 委託 01-FI68-Y33	(主)横手東 成瀬線	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	雄勝地域振興局
4	県単道路改築事業 事業効果検証業務委託 02-I101-Y3	国道103号	東邦技術株式会社	石塚 三雄	鹿角地域振興局
5	県単道路補修事業(災害防除) 横断暗渠補修詳細設計業務委託 02-G351-Y3	(主)十二所 花輪大湯線	中央開発株式会社 秋田営業所	鈴木 益夫	鹿角地域振興局
6	地方道路交付金事業(雪寒) スノーシェルター照明施設更新詳 細設計業務委託 01-FI01-Y8	国道341号	国際航業株式会社 秋田営業所	桑川 健一	鹿角地域振興局

調査点検等業務部門


番号	委託業務名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	地方道路交付金事業(効果促進) 橋梁点検業務委託 01-FI99-Y8	国道108号 ほか	株式会社創研コンサル タント	田森 宏	雄勝地域振興局

◆業務概要			
委託名	大戸川地区 かんがい排水業務委託		00502-Y04
地区名	大戸川		
商号又は名称	東邦技術株式会社		
請負額	11,138,600 円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 石塚 三雄		
管理技術者	中村 春夫		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任調査員	佐藤 雅人	調査員	長谷川 龍彦
工期	令和2年3月30日～ 令和2年9月30日	完成年月日	令和2年9月30日
概要	1) 境界測量 4.2ha		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴及び技術的に特に気を付けた点】 本業務は仙北地域振興局管内の大戸川用水路の改修計画として現況用水路をパイプラインに布設替えするかんがい排水事業の区域境界測量業務で、横手市と大仙市の2つの土地改良区をまたがっている地域である。本業務の境界測量後の地元説明会や工事着工スケジュールもすでに予定されていた事で、遅滞のない業務進捗が求められた。特に延長が4.2kmと長い事からスケジュール管理表を作成し、2班体制を組み作業の効率向上と工程短縮に務めた。</p> <p>【苦労した点】 業務地域は昭和42・57年国土調査実施地区であったが、横手市へ確認したところ、実施成果座標値が保管されておらず、総面積4.2haについて座標値を読み取り、現地に境界杭を設置した。又、公図（地図）は非常に細かく幾多の道路・水路が入り組んでいた事から、現況地形の高速道路（秋田道）や、用水路に平行している横手市道等の現況平面との照合は非常に苦労した。</p> <p>【工夫した点】 業務を進める中で、追加業務が発生した。 ・1つは工事に伴う、機材や搬出土量等のための借り上げ用地の確保についてである。業務地内3箇所にて農地1枚分の借り上げ用地図を作成し、A3図面に面積や公図、土地所有者を記入し、発注者が使用し易い図面に仕上げた。 ・2つ目は工事に伴い、支障となる立木について調査と算定で業務内容から補償業務担当者による補償額の算定まで行き、迅速な対応を行った。</p>	 <p>業務地かんがい用水路</p>  <p>境界確認作業</p>  <p>工事の支障木調査</p>

◆発注公所の所見
<ul style="list-style-type: none"> ・工事の設計を別業務で実施していたが、立木が支障となることと用地の借上が必要となることが判明したため、当該業務に変更追加することにした。 ・4.2kmと長い延長の用地境界測量と境界確認であったが、追加業務と合わせて2班体制を組むなど工程管理を工夫し、迅速かつ正確に業務を完了させたその柔軟性と工程管理能力は高く評価できる。

◆業務概要			
委託名	測量業務委託（県単砂防事業（自然災害防止事業）急傾斜） 02-L400-Y1		
地区名	大小路2号工区		
商号又は名称	株式会社遠藤設計事務所		
請負額	5,049,000円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 遠藤 隼人		
管理技術者	村上 昇		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 長史	調査員	草薨 一樹
工期	令和2年7月17日～ 令和3年1月22日	完成年月日	令和3年1月22日
概要	1) 4級基準点測量 20点 2) 現地測量 0.0281km ² 3) 路線測量 0.5km		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴】 本業務は、法枠工による施工が完了している急傾斜地において、施工後30年が経過している状況を、後続の調査・設計業務に反映すべく、地形測量及び路線測量を実施したものである。 現地状況からは次のことが懸念された。 ①法枠工は土砂に覆われ、立木は20m程の高さに成長しており、測量作業は難航が予想される。 ②排水設備が損壊や土砂堆積により機能しておらず、斜面下の商業施設は恒常的に浸水しており、早期の改修を要する。</p> <p>【業務遂行にあたり苦労した点・工夫した点】 上記懸案事項への対応策を以下に述べる。 ①施工当時の出来形図面が無いことから、現況地物を観測して平面図を作成するものとした。そこで、小段と縦排水の位置を伐採して、土砂を取り除き、構造物を表した。作業には想定外の時間を要したが、地形測量を完了することができた。 ②今後の補修計画が速やかに進むように、施工年度により異なる植生種別及びフレーム構造等を図面に反映するため、土砂を除去して調査を行い、平面図に表記した。 また、構造物の破損や洗掘箇所についても報告した。</p>	<p style="text-align: center;">土砂災害警戒区域等の指定に係る図書(その2)</p>  <p style="text-align: center;">立木状況</p> 

◆発注公所の所見
<ul style="list-style-type: none"> 本業務は、急傾斜地崩壊危険区域内における既存施設改修に必要な地形測量、及び、路線測量等を行うものである。 現地は急勾配のうえ草木が繁茂している状況のため、測量自体も困難であったが施設状況も綿密に調査を行い、また、同時進行していた対策施設改築詳細設計業務とも適切に連携し作業を進めたことは高く評価できる。

◆業務概要			
委託名	測量業務委託（県単砂防事業（自然災害防止事業）急傾斜） 02-L405-Y1		
地区名	岩崎工区		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	4,187,700 円	種別	測量業務
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	篠原 孝之		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 長史	調査員	安田 莉奈
工期	令和2年8月21日～ 令和3年1月22日	完成年月日	令和3年1月22日
概要	1) 4級基準点測量 19点 2) 現地測量 0.031km ² 3) 路線測量 0.24 km		

◆受注者の声

【業務の特徴・課題】

本業務は、潟上市飯田川下虻川和田妹川岩崎地区の急傾斜地崩壊危険区域の自然災害防止事業に伴う基準点測量・現地測量・路線測量を行ったものである。

- ・急傾斜地での作業であることから、事故防止に向けた安全な作業環境が必要である。
- ・設計業務と同時期発注であることから、調査範囲等密な情報共有が必要である。
- ・作業工期後半に降雪が予想されるため、効率的な作業遂行と作業計画の短縮化が必要である。

【課題解決に向けて工夫した点、苦労した点】

- ・急傾斜区域での作業であることから、作業の安全管理として社内安全管理室による安全講習会及び安全パトロールを実施し、作業員への安全周知を行った。
- ・地元住民には事前に測量・現地調査作業についての周知チラシを配布し、協力をお願いした。
- ・現地作業において、基準点測量はネットワーク型RTK法（VRS方式）により3測点を基準（与点）とし、後続作業を実施する上で効率化を図るために利用しやすい位置へ設置した。
- ・路線測量は設計業者による中心線決定後となるため、作業員を増員し降雪前に作業を完了させた。
- ・測量範囲については、当初急傾斜地の測量であったが、施工時の機材搬入路等の計画が必要であることから県道男鹿昭和飯田川線を含む範囲を提案し実施した。
- ・作業の提案として、住民等に今後の事業説明の資料としてUAVによる空撮を行った。



UAVによる全景写真



ネットワーク型RTK (VRS方式)

◆発注公所の所見

- ・本業務は、急傾斜地崩壊危険区域内における既存施設改修に必要な地形測量、及び、路線測量等を行うものである。
- ・現地は急勾配のうえ住宅も近接している状況のため、測量自体も困難であったが施設状況も綿密に調査を行い、また、同時進行していた対策施設改築詳細設計業務とも適切に連携し作業を進めたことは高く評価できる。

◆業務概要			
委託名	県単道路補修事業（災害防除） 地質調査業務委託 02-G351-Y2		
地区名	（主）十二所花輪大湯線		
商号又は名称	創和技術株式会社		
請負額	3,630,000 円	種別	地質・土質調査業務
代表者	代表取締役 伊藤 隆喜		
管理技術者	畠山 茂		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	大森 信博	調査員	小松 繁
工期	令和2年年7月17日～ 令和2年11月30日	完成年月日	令和2年11月30日
概要	1) ホーリング N=2本 2) 土質ホーリング (粘性土・シルト) L=11.0m、 (砂・砂質土) L=12.1m、 (礫混じり土砂) L= 9.9m 3) 標準貫入試験 N=33回 4) 解析等調査 N=1式		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴】 本業務は、主要地方道十二所花輪大湯線において、老朽化した既存横断暗渠を更新するために必要な地盤情報を得るために実施した業務である。既存横断暗渠（Φ800mm）は沢を埋め立てた道路盛土の下部に敷設されており、新設横断暗渠の敷設方法は推進工法が予定されていた。</p> <p>【業務遂行上の課題】 ①初回の合同打合せ[発注者及び受注者（測量、設計、地質調査）]で協議された内容を反映させた提案型の地質調査業務の実施が要求された。 ②地質状況の共有化および作業の効率化を図るため、機械ボーリングの掘進状況を発注者と設計担当者に遅滞なく報告する必要がある。 ③新設横断暗渠の敷設方法を推進工法とした場合の設計・施工上の留意点を取りまとめる必要があった。</p> <p>【課題の解決に向けて工夫したこと】 ①新設横断暗渠の敷設ルート及び敷設方法（推進工法）に配慮し、ボーリング位置の選定と推進工法に必要とされる地盤情報を得るための現位置試験を提案・実施した。 ②当日の機械ボーリングの掘進結果を仮柱状図として作成し、翌日の予定作業を記載した資料と一緒に電子メールで報告した。 これによって地質状況の共有化と手戻りがない効率的な作業を可能とした。 ③地質調査で得られた地盤情報をもとに、中大口径管推進工法の設計・施工に際しての留意点として、推進工事におけるトラブルについて、液状化判定の必要性、補助工法の必要性及び環境への配慮などについて取りまとめた。</p>	<p>本業務地で想定される推進工事のトラブル</p> <p>①推進地盤を「礫混じり有機質土」とした場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軟弱地盤での推進精度不良 ・発進・到達時の坑口部における出水・土砂流出 <p>②推進地盤を「砂礫」とした場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進地盤の不均質による推進精度不良 ・滑材逸走による推進抵抗力増加

◆発注公所の所見	
<ul style="list-style-type: none"> ・本業務は、老朽化した道路横断暗渠の更新工事に必要な地盤情報を把握するための地質調査業務である。 ・同時に行われた横断暗渠補修設計業務と調整を図り、設計・施工に必要な情報を得るための追加調査の提案・実施、設計・施工上の留意点など分かりやすく簡潔にまとめられている。 	


◆業務概要			
委託名	秋田 8 (仙北) 地区 震災対策農業水利施設整備業務委託 40601-Y03		
地区名	秋田 8 (仙北) 地区		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	9,216,900 円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 五十嵐 誠		
管理技術者	保坂 龍弥		
発注公所	仙北地域振興局 (農林部)		
主任調査員	佐藤 則志	調査員	泉 亮太
工期	令和2年10月19日～ 令和3年3月12日	完成年月日	令和3年3月12日
概要	1) ため池耐震性調査 (L1) N=5箇所 2) 路線測量 横断測量 N=5箇所 3) 地形測量 現地測量 N=1式		

◆受注者の声

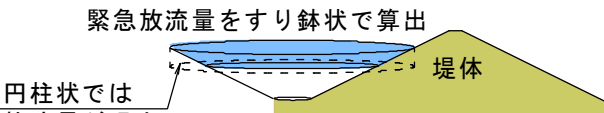
【業務の目的】
 近年の豪雨や大規模地震等により多くのため池が被災し、大きな災害が生じていることを踏まえ、秋田県では平成25～26年度に県内すべてのため池の点検を実施した。
 本業務では、そのうち詳細な調査の優先度が高いため池の老朽化が進行しているものや決壊した場合に下流への影響の大きい防災重点ため池について、所定の耐震性を有しているかの耐震性調査業務を行ったものである。

【工夫した点】

- 緊急放流能力の検討で、緊急降下水位直近の斜樋工の取水栓を開閉する設備が備わっていないため池は、「機能なし」とし放流能力判定しないことが一般的であるが、緊急放流に対応する対策としてロープやチェーンなどの設置により緊急放流可能と考えられることから、緊急放流に対応する対策を講じた場合を想定し緊急放流能力の検討を行った。その際求める緊急放流量の計算は、「満水位水面面積×急降下水深」の円柱の体積では放流量が過大となり放流時間が長くなることから、現状の法勾配を考慮した「すり鉢状(逆推台)」で、放流量を求めて実情に近い放流時間を算出するように工夫した。
- 漏水が確認されたため池について、今後対策工の検討や、全面改修を行う場合、漏水原因を把握するための水質分析調査方法とし、「ダイヤグラム法」を提案した。



緊急放流の考え方






緊急放流量をすり鉢状で算出
 円柱状では放流量が過大

◆発注公所の所見

- 十分な現地調査や関連する地質調査業務受注者との積極的調整等により、綿密かつ適切に業務を遂行した。
- ため池の漏水原因の究明のための調査手法として「ダイヤグラム法」を提案する等、技術提案について高く評価できる。

◆業務概要			
委託名	地方道路交付金事業（災害防除） 法面詳細設計業務委託 02-F161-Y3		
地区名	国道104号		
商号又は名称	ジオテックコンサルタンツ株式会社		
請負額	5,032,500円	種別	詳細設計
代表者	代表取締役 三笥 寛		
管理技術者	安藤 広美		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	大森 信博	調査員	保坂 亜沙希
工期	令和2年5月29日～ 令和2年12月21日	完成年月日	令和2年12月21日
概要	1) 法面工詳細設計 N=1箇所 2) はつり調査 N=16箇所		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴】 本設計対象は劣化の進行した既設モルタル吹付のり面である。令和2年春（融雪期）に一部範囲でモルタル面及び背面岩盤が崩落した。当該箇所は道路防災点検箇所（落石・崩壊）であり、過去の定期点検においてもモルタル面の劣化進行が指摘されていた。</p> <p>【技術上の課題と対応】 1) 湧水箇所に施されたモルタル吹付 上方斜面の湧水が地中に浸透し、モルタル吹付背面から常時滲出している。冬期にはこの滲出水が凍結し氷柱化する。既設モルタル吹付面は長年に渡り凍結融解や乾湿繰返しによる作用を受け、劣化が進行した。湧水箇所にモルタル吹付（密閉型）は不適である。 ↓（対応） 開放型と密閉型、既設モルタル吹付全撤去と残存の面から、機能面の不足部分（湧水処理、浸食防止等）を別工法の併用で補う組合せ案で比較検討を実施し、対策工法を決定した。 2) 硬質な地山岩盤と著しい凹凸・オーバーハング地形 既設モルタル吹付面は凹凸が著しく、所々オーバーハング形状を呈す。国道建設時の切土で非常に硬質で亀裂質な岩盤（石英安山岩）が出現し、均一な切土面が構築困難となったことが伺える。 ↓（対応） 不安定形状を残すが、現状（地形、既設対策施設）を活かし安定性確保や施設の長寿命化を図ることが可能となる対策工を計画した。「高強度ネット斜面安定工（露岩部植生マット併用）＋湧水処理工」</p>	 <p>全景</p>  <p>崩壊発生</p>  <p>湧水（常時流下）</p>

◆発注公所の所見	
<ul style="list-style-type: none"> ・本業務は、国道104号道路脇斜面のモルタル吹付面において、著しく劣化が進行したモルタル吹付面及び背面岩盤が崩落したことに對して、道路利用者の安全確保を目的とした法面対策工事に係る詳細設計業務委託である。 ・モルタルの健全度を考慮した上での対策が必要なため、入念に現地調査や現場条件の把握に努め、また測量業務委託と調整を図り、施工の安全性等を総合的に判断し工法を選定した。 	

◆業務概要			
委託名	地方道路交付金事業（災害防除）一般構造物予備・詳細設計業務委託 01-FI68-Y33		
地区名	（主）横手東成瀬線		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請負額	4,244,900 円	種別	詳細設計業務
代表者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	藤田 勝		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 格	調査員	佐藤 司
工期	令和2年3月30日～ 令和2年8月31日	完成年月日	令和2年8月31日
概要	1) 一般構造物予備設計 N=1箇所 2) 一般構造物詳細設計 N=2箇所 3) 簡易動的コーン貫入試験 N=4箇所		

◆受注者の声

【業務の特徴と課題】

- ・片側切土道路として、既存落石対策（ロックネット）、路肩沈下復旧（オーバーレイ）が対策されている区間である。本業務は未対策範囲の落石、路肩の再沈下対策として、法面覆工、路肩擁壁の構造物予備による工法選定及び詳細設計を実施するものである。
- ・周囲が保安林であるが、事業早期化のため道路敷内で線形改良可能な法面对策、さらに、冬期通行止め区間、一車線の山間の道路であり、施工実現性を考慮することが必要である。
- ・道路防災点検要対策区間（ランク5：危険度がかなり大きく、必要に応じて応急措置を検討）であり、早急な対応が必要である。

【課題解決に向けて工夫した点、苦労した点】

- ・路肩崩壊防止対策において、線形改良及び擁壁設置幅を確保するため、切土側の拡幅を用地内で実施。切土勾配検証、用地制約を実現する切土工法を検討した。結果、吹き付け法枠工+ロックネットの併用を選定し、設計案の三次元画像により線形及び図面整合検証を実施した。
- ・長大な切土面と自然法面のため、近接しての調査が困難な箇所において、レーザー測量成果を活用し、現況勾配やオーバーハングの範囲などを特定し、対策範囲を決定している。
- ・落石及び路肩崩落の誘因及び変状となる表面水処理の充実を図るため、当初設計範囲を超えて流末まで検証の上、必要な対策を提案し、設計を実施した。

3Dデータから横断抽出

3Dデータ（完成イメージ）

◆発注公所の所見

- ・本業務は、道路防災点検において対策が必要となった箇所の対策工設計業務である。
- ・本工程は、現地の交通量や前後の道路状況を勘案し、現況の用地内で最適な工法を選定する必要がある。
- ・設計にあたっては、現地状況や道路変状等の原因を良く調査した対策工の提案があり、業務目的を満足する成果を得ることができた。

◆業務概要			
委託名	県単道路改築事業 事業効果検証業務委託 02-I101-Y3		
地区名	国道103号		
商号又は名称	東邦技術株式会社		
請負額	4,551,800 円	種別	予備設計
代表者	代表取締役 石塚 三雄		
管理技術者	伊藤 誉志広		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	今野 正規	調査員	山内 和彦
工期	令和2年7月17日～ 令和2年9月23日	完成年月日	令和2年9月23日
概要	1) 将来交通量推計 N=1式 2) 費用便益分析（基本3便益） N=1式 3) 拡張便益の算定 N=1式		

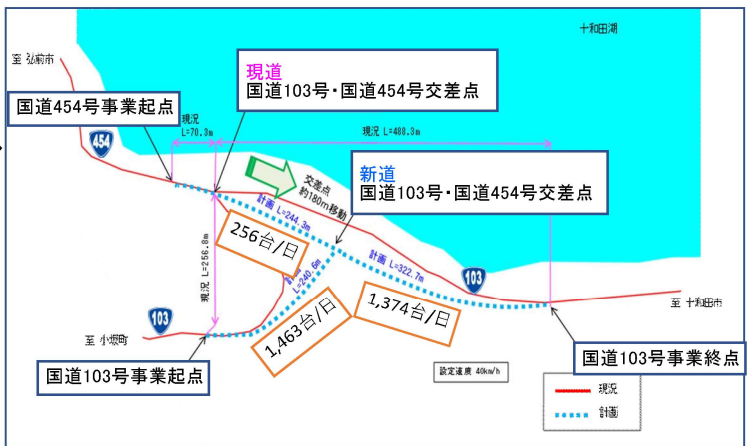
◆受注者の声

【業務概要】
 本業務は秋田県鹿角郡小坂町十和田生出地内において実施中の道路事業（国道103号和井内工区）について将来交通量推計および費用便益分析を行い、事業効果の検証を行ったものである。業務実施にあたっての留意点は以下の通りである。

【将来交通量推計の妥当性確保】
 交通量推計の設定条件と推計結果を右に示す。当該区間のH17センサス交通量との再現性を確認し、さらに「整備あり」の国道103号推計交通量は概略設計段階のH30年度推計と同様に150台/日となることを確認した。

【費用便益分析の妥当性確保】
 費用便益分析の基本3便益は「H30年度改定の費用便益分析マニュアル」、拡張便益は「R2改定の秋田県版道路事業費用便益分析マニュアル」に基づき実施した。交通量が少なく基本3便益（走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少）で費用便益比は1.0を下回るが、適用可能な拡張便益を選定して適切な費用便益比とした。例えば小坂町が整備を進める和井内地区の「道の駅」と複合の観光拠点施設や、同地の環境省の緑地整備などを踏まえた観光客増加の拡張便益である。

【その他】
 本業務はセンサスOD表等基本データ入手から公共事業評価専門委員会への諮問資料としての提出までが短期間のため、発注者と随時メール連絡、打合せを行い手戻り防止の工程管理をした。



将来交通量

◆発注公所の所見

- ・本業務は、国道103号 和井内工区の事業効果検証業務である。
- ・業務期間が短い中で将来交通量推計の妥当性や費用便益の分析、拡張便益の算定と精度を保ちながら効率よく業務を完了させた。
- ・発注者との連絡を密にとり、必要なデータの収集や資料作成など手戻りなく業務を行い、成果物の品質確保と工程管理に努めた。

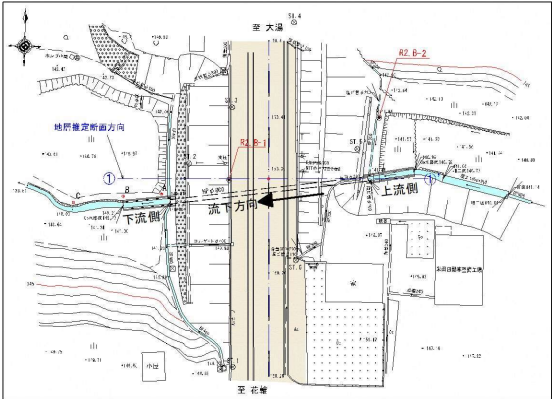
◆業務概要			
委託名	県単道路補修事業（災害防除） 横断暗渠補修詳細設計業務委託 02-G351-Y3		
地区名	（主）十二所花輪大湯線		
商号又は名称	中央開発株式会社 秋田営業所		
請負額	9,632,700 円	種別	詳細設計
代表者	所長 鈴木 益夫		
管理技術者	三浦 正人		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	大森 信博	調査員	小松 繁
工期	令和2年7月31日～ 令和3年3月22日	完成年月日	令和3年3月22日
概要	1) 管路施設（新設・詳細）推進工法（中大口径） N=1式 2) 管路施設 施工法等の比較検討 N=1式 3) 室内土質試験 N=1式		

◆受注者の声

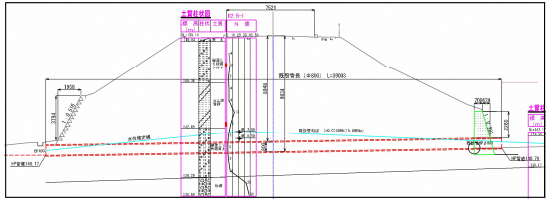
【業務の特徴】
 本業務は、主要地方道十二所花輪大湯線において、盛土下の既設横断管渠の老朽化により流下能力に支障が生じていることから、既設横断管の布設替え工事の実施設計を行うものであり、出来るだけ交通規制が少なく、安全な工法を選定する必要があった。
 工法の比較検討では、開削工法、刃口推進工法、密閉型推進工法、鋼製さや管方式（取込制御方式）等を候補として検討した。

【苦勞した点】
 工法の検討に先立ち、同時発注されていた地質調査業務との調整を行い、地盤条件を明らかにした。
 施工条件として、既設横断管渠は、盛土高約8mの下に布設されており、開削工法では施工性、経済性及び交通規制等を考慮すると不利となるため、推進工法による検討を行った。しかし、横断管渠を布設する盛土下部には重力式擁壁が設置されており、これが施工上の障害となった。

【検討結果】
 推進工法の検討では、擁壁部削孔可能であることその他、交通規制の観点から出来るだけ道路上からの搬入を少なくするため、資機材運搬についても検討の対象とし、経済性、施工性等から鋼製さや管方式二重管ケーシング工法を採用するに至った。



平面図



側面図

◆発注公所の所見

- ・本業務は、老朽化した道路横断暗渠を更新するための補修設計業務である。
- ・現道上の工事であるため、入念に現地調査を行い現場条件の把握に努めた。
- ・工法選定においては、同時に行われた地質調査業務と調整を図り、施工の安全性や経済性など総合的に判断し選定している。

◆業務概要			
委託名	地方道路交付金事業（雪寒） スノーシェルター照明施設更新詳細設計業務委託 01-F101-Y8		
地区名	国道341号		
商号又は名称	国際航業株式会社 秋田営業所		
請負額	3,984,200円	種別	詳細設計
代表者	所長 桑川 健一		
管理技術者	平山 貴司		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任調査員	大森 信博	調査員	小松 繁
工期	令和2年5月29日～ 令和3年3月22日	完成年月日	令和3年3月22日
概要	1) 照明施設更新詳細設計 N=1式		

◆受注者の声

【業務の特徴】
 本業務は、秋田県鹿角市八幡平字切留平地内の志張スノーシェルターにおける、照明設備の更新設計を実施した。スノーシェルターは鋼製であり、アーチ部には採光窓が設置されている。

1) 冬期における照度測定調査の提案
 冬期の積雪により、採光窓からの入射光が期待できるか確認するため、積雪期の照度測定調査を提案実施した。調査では輝度計を用い、シェルター内を5mピッチで計測を行った。調査結果より、積雪により入射光による輝度は低く、入口照明が必要と判断し、入口部照明を設計した。

2) トンネル断面形状の照査
 台帳や既存資料のトンネル断面形状は、現地と異なる場合がある。特に鋼製シェルターにおいては、H形鋼があり、正確な断面形状の把握が難しい。そこで、現地調査時において、トンネル正面写真を撮影し、3Dモデルを作成し、断面形状を把握し、設計に反映した。

3) 現地に即した灯具配置検討と取付け図面
 シェルターの平面線形は曲線部があり、かつ灯具はH形鋼に設置する事から、照度を満足する配置計画が課題となった。そこで、現地のH形鋼間隔を全数計測し、H形鋼の配置展開図を作成した。その後、照明率を算出し、照度が不足する区間が発生しないよう灯具の配置計画を行い照査した。また、灯具設置図においては、既設H形鋼の寸法を計測し、フラットバーやH形鋼支持金具など、設計した。



▲夏期状況



▲冬期状況



▲複数画像から3Dモデル作成



▲断面形状を再現




▲シェルター展開図（鋼材間隔は現地計測結果を反映）

◆発注公所の所見

- ・本業務は、老朽化した照明設備の更新設計業務である。
- ・当該シェルターは平面線形が曲線である事から、断面形状を正確に再現する事が課題であったが、3Dモデルの作成やH形鋼間隔を全数計測するなど、現地状況の把握に努め、適正な灯具配置計画を行っている。

◆業務概要			
委託名	地方道路交付金事業（効果促進） 橋梁点検業務委託 01-FI99-Y8		
地区名	国道108号 ほか		
商号又は名称	株式会社創研コンサルタント		
請負額	9,235,600 円	種別	単純調査等業務
代表者	代表取締役 田森 宏		
管理技術者	藤嶋 正博		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	築瀬 秀樹	調査員	伊藤 雄幸
工期	令和2年7月6日～ 令和3年3月19日	完成年月日	令和3年3月19日
概要	1) 橋梁点検 N=36橋		

◆受注者の声	
<p>【業務の特徴】 本業務は、秋田県雄勝地域振興局建設部が管理する橋梁について、橋梁点検を実施するものである。点検実施数は36橋で、その内橋梁点検車を使用しての実施数は12橋であった。</p> <p>【業務の課題】 橋梁点検車を使用する橋梁において以下の課題が発生した。 ①桁下が高く、橋梁点検車を以ってしても、近接目視が困難な部材に対しての点検方法。 ②大型車交通量が比較的多いランガー橋において、片側交互通行下では狭小幅員での通行となった。橋梁構造上、点検箇所が多いことから点検に時間がかかり、交通上の支障が考えられた。 ③補修工事中の橋梁において、工事と点検作業が重なり、補修工事作業の妨げが考えられた。</p> <p>【課題解決に対して工夫した点】 ①に対して ドローンにより近接し、変状・状況の確認を行った。 ②に対して 2班編成として、橋梁点検車と高所作業車を同時に使用し、片側交互通行となる時間短縮を図った。 ③に対して 工事責任者と協議をし、工事作業の妨げとならないよう、点検全体の工程修正を行い、比較的工事作業員と工事作業が少ない日に点検を実施した。</p>	 <p>橋梁点検車と高所作業車を併用した点検実施状況</p>

◆発注公所の所見	
<ul style="list-style-type: none"> ・本業務は、橋梁の劣化・損傷状況を把握するための点検業務であり、現地調査に先立ち関係機関との事前協議や調整等を十分に行い、期限内に調査を完了させた。 ・また、地元小学生を対象に開催した建設産業担い手確保育成支援事業においては、コンクリートの打設体験や、橋梁点検車に乗車して橋梁点検業務を体験するなど協力をいただいた。これにより、建設産業の担い手確保及び育成にも寄与したことは、高く評価できる。 	

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	神	部	秀	行
選考委員	総	務	部	長	松	本	欣也
〃	農	林	水	産	部	長	佐藤幸盛
〃	建	設	部	長	佐	藤	秀治
〃	出	納	局	長	奈	良	聡

秋田県優良業務表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部	建設産業振興統括監	浅	井	学					
幹事	参事(兼)	農地整備課長	舩	谷	雅広					
〃	森	林	整	備	課	長	三	森	道	哉
〃	建	設	政	策	課	長	三	浦	卓	実
〃	技	術	管	理	課	長	小	野	潔	

秋田県優良業務表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評価に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該業務の成績評価が優秀であること。
- (2) 当該業務において事故等による減点がないこと。
- (3) 当該企業における各業務の成績が良好であること。
- (4) 当該企業において各業務の成果品について瑕疵修補又は損害賠償が実施されていないこと。
- (5) 当該企業において労働災害がないこと。
- (6) 他の模範となるものと認められる業務であること。

(選考委員会)

第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表彰)

第6条 被表彰者は、受託企業の代表者（共同企業体の場合にあつては、構成員のそれぞれの代表者）及びその業務を担当した管理技術者とする。

(事務局)

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。


平成28年6月1日一部改訂

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

令和元年5月20日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P57の名簿参照のこと

 **AKITAVISION** **O** **N**
秋田県